デジタル・ビデオ・レコーダ
取扱説明書
4/8/16チャンネル共通

VER XM3K-J1.2

- この度はデジタル・ビデオ・レコーダをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解いただいた上で、正しくご使用されますよう、お願い申し上げます。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- 他社製のカメラ・モニタ・警報装置およびコンピュータを接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

安全上のご注意

注意:

本機の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。
修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

SA 1965

左のマークは感電の危険性を示します。

SA 1966

左のマークははこの機器を使用するにあたって重要な操作や
管理維持方法を示します。

注意:

この機器を濡らさないでください。雨や水に 濡れると、発火及び感電の原因になります。

目次

免責事項 5

警告 5

注意 7

故障を防ぐために 7

梱包品の確認 8

I. 各部の名称とはたらき 9

1. 前面パネル 9
2. 背面パネルのコネクタ 12
3. リモートコントローラ 14
4. マウス用キーパッド 15

II. 設置 & 接続 16

1. カメラ、 モニタ、 マイク、 アラームセンサーおよび電源コード 16

2. ネットワーク接続用PCのシステム条件 19

III.クィック設定 20

1. 日時設定 20
2. 録画設定 21
3. 詳細設定 22

IV.ライブ監視 23

1. 表示概要 23
2. 分割画面表示および画面自動切替 24
   - 2.1 １画面表示 24
   - 2.2 分割画面表示および画面自動切替表示 24
   - 2-3. 画面移動 25
3. ズーム機能 26
4. スポットモニタ 26

V. メインメニューの操作 27
1. メインメニューの概要 27
2. 画面 28
2.1. 画面設定 28
2.2. 画面自動切替設定 29
3. カメラ設定 30
4. モーション 32
5. 録画 34
6. アラーム録画 36
6.1. 録画設定 36
6.2. アラーム設定 37
6.3. 録画モードの優先順位 38
7. 予約録画 40
8. ネットワーク設定 43
8.1. IP アドレス設定 43
8.2. Eメール 45
8.3 DDNS 46
8.4. その他 47
9. システム設定 48
9.1. 設定 48
9.2. 日時設定 49
9.3. ユーザー設定 50
9.4. ディスク 51
9.5. アップデート 52
9.6. システム情報 53
VI. カメラ制御 54
1. P.T.Zメニュー 54
2. プリセット & ツアー 55
3. カスタム機能 55
VII. 検索・再生 58
1. 時間検索 58
2. ログリスト検索/アラーム、モーション検索 59

VIII. バックアップ.....60

1. 外部**USB**メモリー..... 60

2. 外部 **USB HDD** バックアップ..... 61
3. 外部**CD/DVD –RW** バックアップ..... 64
4. バックアップデータを再生するには..... 65
5. バックアップ範囲設定..... 66

IX. クライアントプログラム.....67

1. プレーヤープログラム紹介..... 68
1-1. インストール.....68
PC 推奨仕様.....68
1.2. インストールするには.....69
2. 特徴..... 71
2.1. CMS 概要.....71
2.2. 機能.....71
3. DVR 制御..... 82
3.1. セットリスト管理.....82
3.2. DVRの状態.....84
3.3. カメラの表示.....85
3.4. ライブ監視.....86
3.5. コンテキストメニュー.....90
3.6. 再生.....92
3.7. DVRメニュー設定.....96
4. 仮想 **DVR**..... 97
4.1. DVRとは.....97
4.2. 仮想セット・リスト管理.....97
4.3. DVRの編集.....99
4.4. DVRのライブ表示.....100
付録**1: WEB CMS**..... 101
付録 **2:** 監視..... 103

免責事項

- この取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい取扱説明書が発行される場合があります。
- デジタル・ビデオ・レコーダ、ソフトウェア、ハードディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障による障害またはデータ消失によって、結果的に生じる損害は保障できません。

警告

- 本機の通気孔またはスロットを塞がないでください。 器具の過熱防止のため、通気孔とスロットの周囲は最低５ｃｍ空けてください。
- スロット内に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし入れてしまった場合は直ちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機の分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙や異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙等が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機に重い物を落とすなどしてケースが変形・破損した場合は直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機に水などの液体を入れないでください。DVRは防水ではありません。本機に液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。本機に水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機のお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は 火災やショートの恐れがあるので避けてください。

- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります。
- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードに触れないでください。電源プラグをコンセントから抜くときはプラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は、付属のACアダプタをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・加熱・装置の変形等の恐れがあります。
- 液漏れ・火災・感電・破裂等により重症を負う恐れがありますので、バッテリーを熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、バッテリーの加熱や分解をしないでください。
  バッテリーの液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに水で洗い流してください。 また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- バッテリーに強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物でバッテリー端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。.
- 付属のACアダプタと電源コードは、このDVR専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品やバッテリーに使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を使用しないでください。温度0～40℃、湿度90%以下でご使用ください。この装置の専用ACアダプタが正常動作するための電源はAC100～240V 50/60Hzです。.

故障を防ぐために

- 強い磁気を避けてください。電気モーターまたは他の強い電磁気を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁気にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。.

- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。

- デジタル・ビデオ・レコーダ内部に結露を生じたら。結露を発見した場合は直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから電源コードを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください.

注意

- 正規品ではないバッテリーに交換すると破裂の危険があります。バッテリーの廃棄は各地方自治体の指示に従ってください。
- コンセントは装置の近くに設置し、容易に抜き差しできる状態にしてください。

梱包品の確認

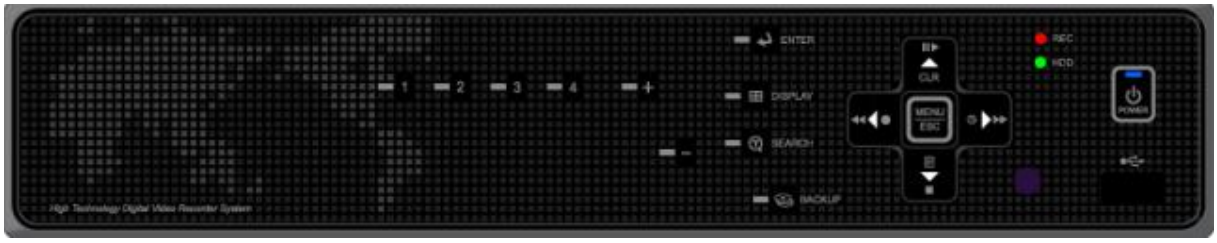
パッケージと中身に破損がないか確認してください。部品が足りない場合や破損している場合はすぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、梱包材は本機を再び輸送するとき（引越しや修理）に必要となりますので、大切に保管してください。

品名	数量	備考
デジタル・ビデオ・レコーダ	1	
クライアントソフトウェアCD	1	
リモートコントローラ	1	
乾電池 (COIN-CR2025)	1	
AC アダプター	1	
電源コード	1	
取扱説明書	1	

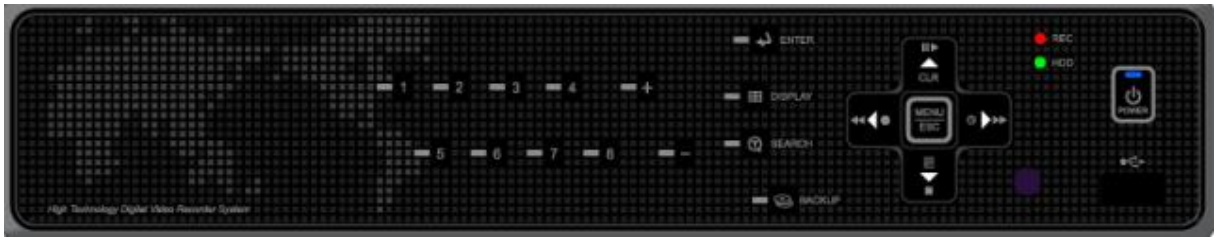
I. 各部の名称とはたらき

1. 前面パネル

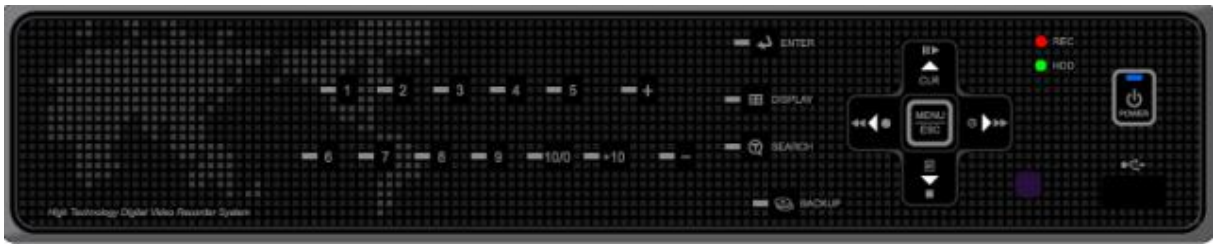
<4ch>



<8ch>



<16ch>



1. モード・インジケータ: ３個のLEDが本機の状態を表示します。

電源 (青)、録画 (赤) 、HDD (緑)

2. 再生 / 録画制御: これらの機能は、ライブモード・再生モード・メニュー内、それぞれの場合によって変わります。

1) 方向ボタン: メニュー設定モード時のカーソル移動に使用します。

2) [ログ / 再生停止]

① ログ：このボタンを押し、ログリストを確認します。
② 再生停止 ：このボタンを押し、再生を停止します。

3) [録画/逆コマ送りまたは巻戻し]

① 逆コマ送り： このボタンは一時停止状態から逆コマ送りするために使用されます。
② 早戻し： このボタンは再生モード時に巻き戻しとして使用されます。
③ 録画： このボタンを押すと録画を開始します。録画の開始と停止を切り替えることができます

4)

[アイコン表示/一時停止または再生]：

① アイコン表示：ライブ状態では、日時やチャンネル・アイコンのようなオンスクリーン表示情報を非表示にするために使用されます。 このボタンは画面の端に表示される任意の警告アイコン(AL、VLおよびPL)を消すためにも使用されまます。このボタンはまた、アラームブザーを止めるためにも使います。
② 一時停止または再生：再生モード時は一時停止または通常速度の再生に使用します。

5) [予約/コマ送りおよび早送り]：

① 予約 ： ライブ状態では、予約録画待機状態になります。また予約録画の開始と停止を切り替えることができます。
② コマ送り： 再生モード時の一時停止状態では、コマ送りになります。
③ 早送り：再生モード時には早送りとして使用されます。

3. メニュー / ESCボタン:

① メニュー：メインメニューを表示します。
② ESC：設定を保存せずにメニューを抜けます。

4. Enter決定 ：

設定を保存するには決定ボタンを押します。

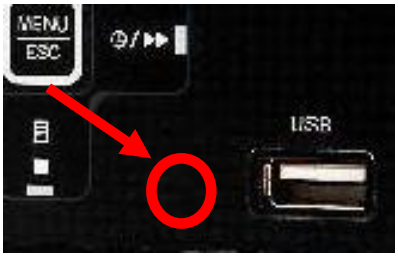
5. 分割選択 ：

このボタンを押すと、画面が分割表示されます。

6. チャンネル / 数字ボタン :

これらのボタンはデータ入力や選択など多くの機能を持っています。 パスワードの入力を促されたときの数字データの入力、カメラのチャンネル選択、予約オプション時の日時選択などにも使用します。
※ 数値の上げ下げに使用しますが、リモコンの数字ボタンの利用が便利です。

7. リモコン受信部:
リモコンから受信部が見える必要があるので、受信部を塞がないでください。



8. 電源ボタン:

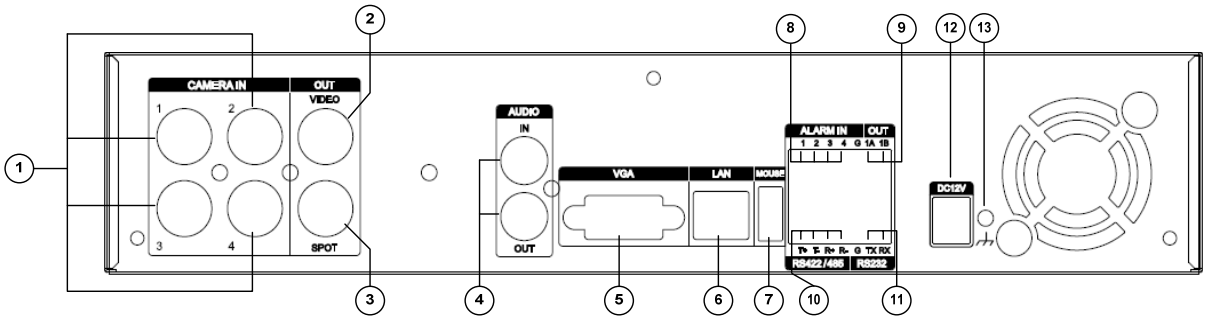
電源をON/OFFします。 電源が入っているときに点灯します。

9. USBポート:
前面のUSBポートで外部デバイスへのバックアップ及びUSBメモリでのアップデートが可能です。また、USBマウスを接続して操作できます。

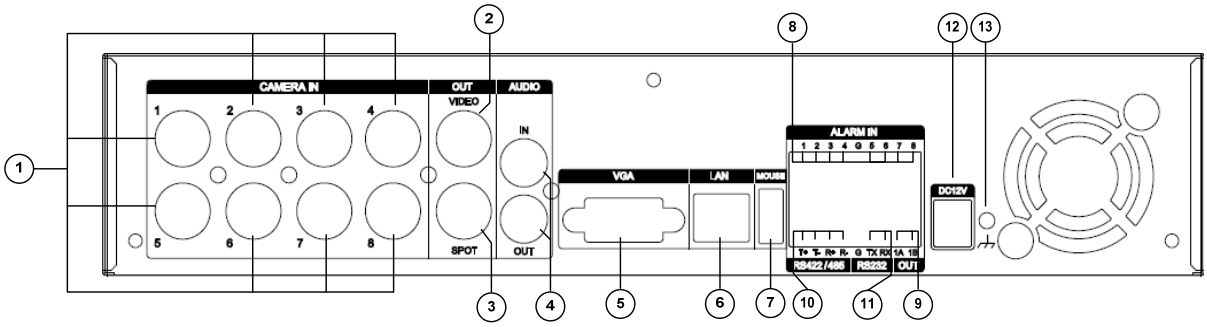
10. 16ch DVRの一画面表示
11ch~16chの一画面表示方法：[+10]ボタンを押した後、１から６を押します。
例）[+10]ボタン＋1：11ch・・・・[+10]ボタン＋6：16ch

2. 背面パネルのコネクタ

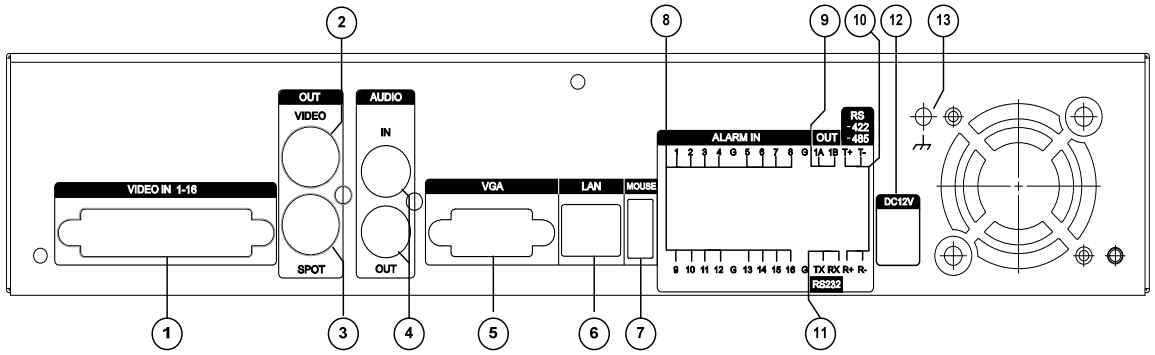
< 4チャンネル >



< 8チャンネル >



< 16チャンネル >

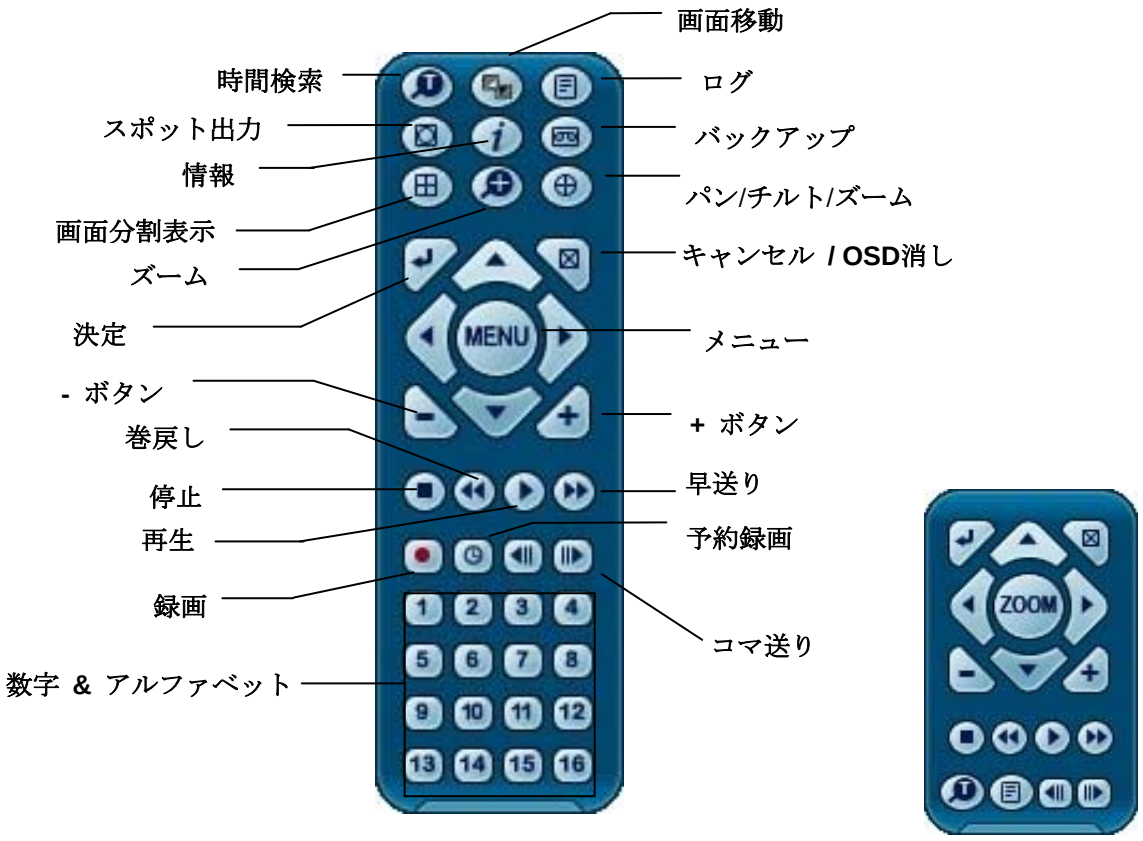


1) カメラ1~4または1~8: BNC入力(カメラ1~4または1~8)コネクタ
   *16chの場合はオクトパスケーブルで接続して下さい。
2) モニター(コンポジット出力) : BNCスタンダード・コンポジット・ビデオ出力コネクタ
3) スポット : スポット出力コネクタ
4) 音声入力 / 音声出力コネクタ: RCA
5) VGA出力コネクタ
6) LAN: イーサネット経由のPCによる遠隔監視および、Eメール送信用(RJ45コネクタ)
7) マウスポート: PS2 USBマウスのみをこのポートに差し込んで下さい。
8) センサー(アラーム入力4ch/8ch/16ch : 4/8/16) : アラーム入力接続
9) リレー(アラーム出力1) : アラーム出力リレー接続
10) RS-422 : PTZカメラ接続
11) RS-232C [D-SUB 9PIN] : 工場での開発用です、お客様のご利用は出来ません。
12) 電源 : DC電源ジャック
13) フィールド GND : グラウンド

3. リモートコントローラ

4. マウス用キーパッド

このDVRはマウスで制御できます。ご使用の前に、マウスポートにマウスを接続してください。 ライブモードや再生モードでマウスの右ボタンをクリックすると、下のようにリモコンとパスワード、カメラ名称等を入力するキーパッドが表示されます。



[ライブ] [再生]

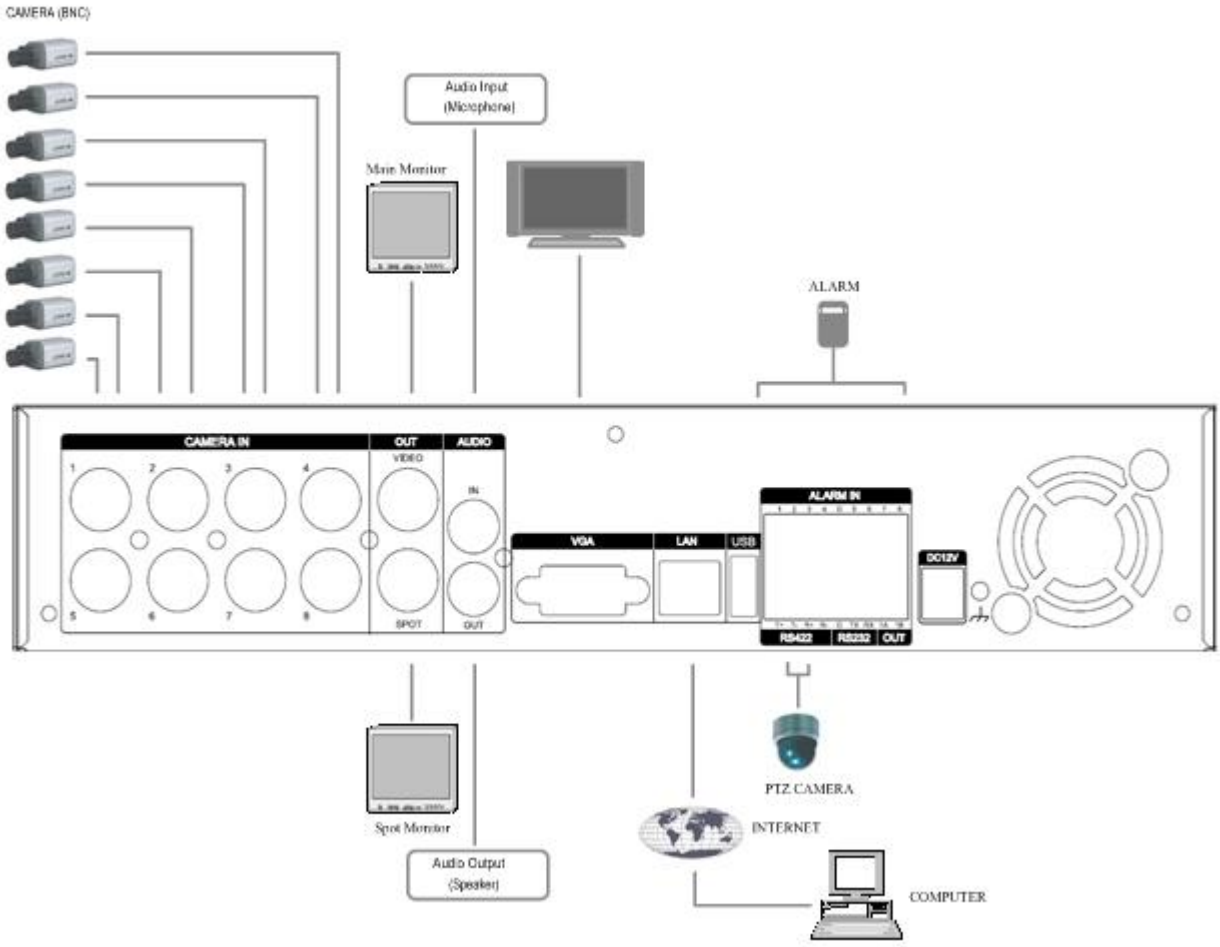
[キーパッド]

II. 設置 & 接続

1. カメラ、 モニタ、 マイク、 アラームセンサーおよび電源コード

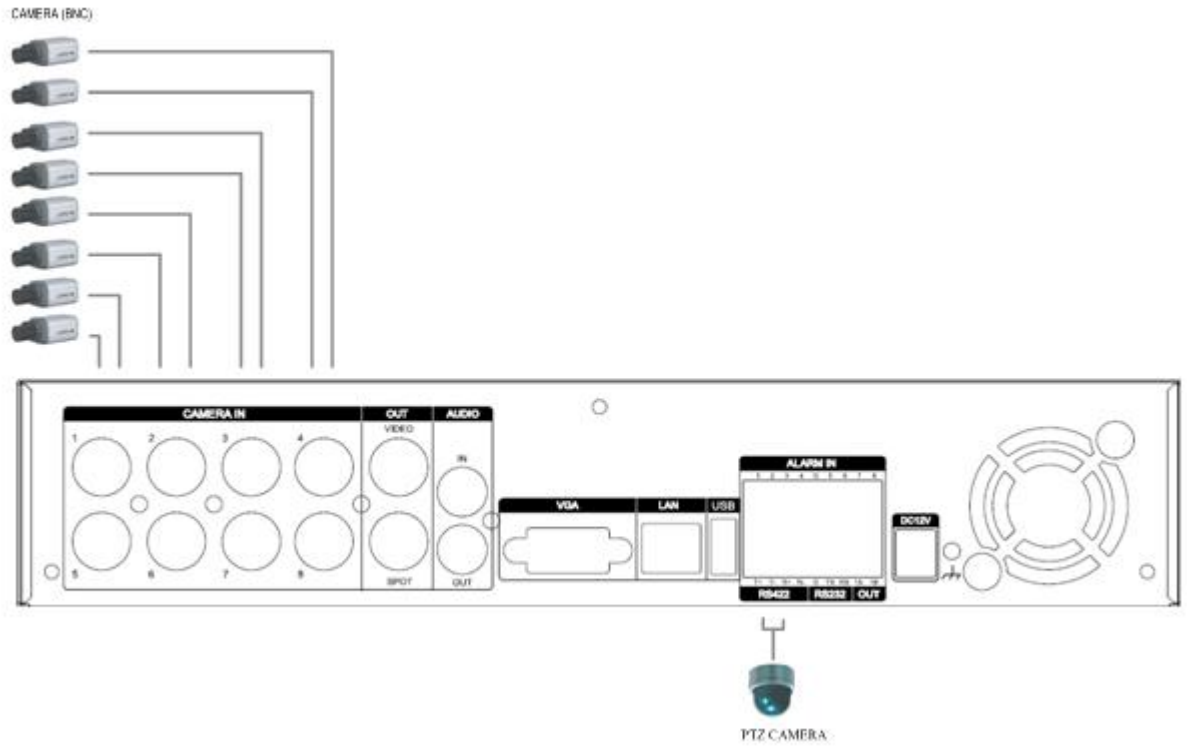
1-1. システム構成図

次の図は全てのシステムが設定されている様子を表しています。



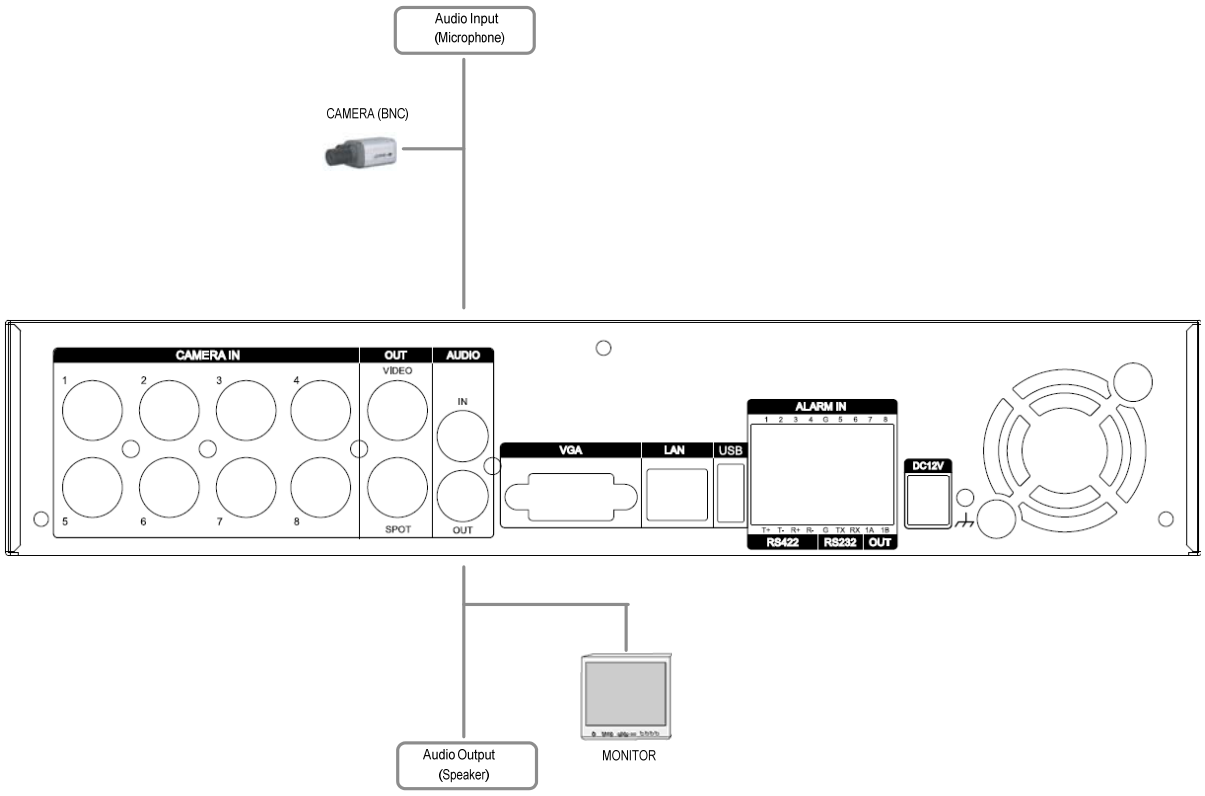
1-2. カメラ

このDVRには4台から16台のカメラの設置ができます。(16CHの場合はオクトパスケーブルが必要となります。)
カメラを背面パネルのビデオ入力部(BNC)に接続します。PTZカメラのご利用の際はPTZカメラのコントロールラインをRS-422 TX+, RS-422 TX- ターミナルへ接続し、ビデオ出力ラインは背面パネルのビデオ入力部に接続します。



1.3 音声

このDVRは１チャンネルの音声入力・出力をサポートします。音声信号を録音または再生をする場合には音声入力(1 Vp-p @600 ohms)に音声デバイスを音声出力にスピーカーを接続した下さい。（下のイメージ参照）



1.4 モニター

背面パネルに３個のビデオ出力端子(2-BNC, 1-VGA)があります。

アプリケーションに合わせ、モニターを接続してください。

1- BNC　メイン・コンポジット・ビデオ出力

1- BNC　スポット・コンポジット・ビデオ出力

1- VGA出力

2. ネットワーク接続用PCのシステム条件

(a) Pentium-4 2.0GHz以上

(b) 256MBシステム・メモリー

(c) 1,024 x 768 画像度、32 Bit color

(d) Windows XP, VISTA

(e) Spare 10/100-BaseTイーサネット・ポート

(f) RJ-45ネットワーク・ケーブル

(g)LAN用CAT-5 UTPケーブル(DVRとPCを直接接続するにはクロスケーブルが必要です。)

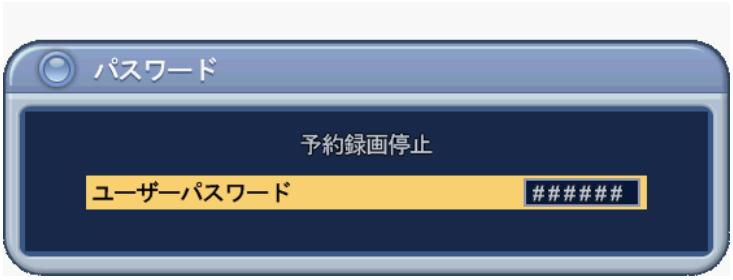
(h) Microsoft DirectX 9.0c
DirectX 9.0cバージョンをお勧めします。(パソコン)
DirectX 9.0cはMicrosoftホームページでダウンロードできます。
(www.microsoft.com/windows/directx).

<*免責事項*>
DVRの接続と遠隔監視はPCのインターネット接続設定にも関連します。接続がうまくいかない場合は、それらも確認しましょう。また、本機とネットワーク機器等、他社製品との間で生じる相性問題について、弊社では責任を負いません。

III.クィック設定

DVRを起動させるには、フロントパネルかリモコンの[POWER]ボタンを押します。電源が入ると３０秒以内にライブ監視画面が表示されます。

1) クィック設定を使用するには録画を停止してください。録画中には日時と録画メニューが起動しません。
2) 数字ボタンを使い、パスワードを入力します。



3) パスワードの初期設定は 「000000」です。
4) [MENU]ボタンを押すと、クィック設定ウィンドウが表示されます。
5) パスワードを入力すると、クィック設定メニューが現れます。
6) 方向ボタンでメニューを選択し、[ENTER]ボタンで確認します。

1. 日時設定

DVRをご使用になる前に、日時を設定することが重要です 。

1) 方向ボタンで“日時設定” タブを選択します。
2) リモコンの数字ボタンまたはDVRの“–/+”ボタンを使い、日付・時刻を入力します。
3) 変更を保存してメニューを抜けるには[ENTER]ボタンを押します。変更を保存せずにメニューを抜けるには[ESC]ボタンを押します。

＜注意＞録画中には時間設定ができません。時間設定をする前に録画を停止してください。

2. 録画設定

このメニューを使い、簡単に録画設定をします。

2-1. 録画モード

1) 方向ボタンで“録画モード”に移動します。
2) “–/+”ボタンを使い、モードを選択します。
3) 変更を保存してメニューを抜けるには[ENTER]ボタンを押します。変更を保存せずにメニューを抜けるには[ESC]ボタンを押します。

録画モード	• CIF, 4/8Ch: 全チャンネルをCIFサイズで録画します。: 360x240 • FIELD, 4/8Ch : 全チャンネルをFIELDサイズで録画します。: 720x240 • FRAME, 4/8Ch : 全チャンネルをFRAMEサイズで録画します。: 720x480 • FRAME + CIF: １チャンネル：720x480 + 2~8チャンネル：360x240(初期設定)

2-2. 録画日数

1) “–/+”ボタンを使い、録画日数を選択します。
2) 変更を保存してメニューを抜けるには[ENTER]ボタンを押します。変更を保存せずにメニューを抜けるには[ESC]ボタンを押します。

2-3. 優先事項

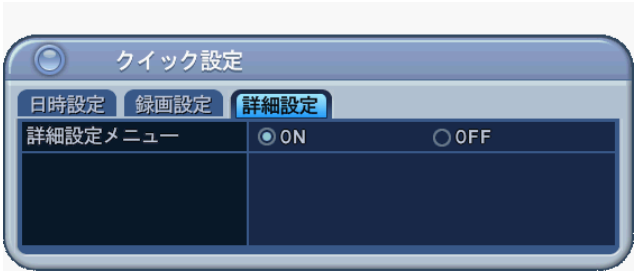
1) “–/+” ボタンを使い、“コマ数”または“画質”を選択します。
2) “コマ数”：DVRは自動的に高速度の録画を設定します。
3) “画質”：DVRは自動的に高画質の録画を設定します。

2.4 録画設定情報

画質と録画速度が表示されます。

1. 録画開始 : 設定が完了したら、録画ボタンを押し、録画を開始します。 2. 各チャンネルの個別設定や詳細設定のためには詳細設定をご参照ください。

3. 詳細設定



“–/+”ボタンを使い、ON/OFFを選択します。

1) “ON”：メインメニューに入るにはONを選択します。次に[ENTER]ボタンを押し、変更を保存します。
2) “OFF”：クイック設定メニューを維持するにはOFFをチェックします。

IV.ライブ監視

1. 表示概要

1. (1) (2) (3)

(1) アラームセンサーによって、アラーム入力端子が発動されたことを示します。
[CANCEL] ボタンを押すと消えます。

(2) モーション検知を示します。[CANCEL] ボタンを押すと消えます。

(3) 録画中のビデオロス(映像信号の中断)を示します。[CANCEL]ボタンを押すと消えます。

(1) (2) (3) (4) (5)

2.

(1) 背面パネルにUSB機器が接続されていることを示します。 バックアップ中には青色に変化します。

(2) 録画中の状態を示します。

(3) 予約録画モードON状態になっていることを意味します。予約録画が開始されると、青色に変化します。

(4) 再生中、選択された時間に音声データが含まれていることを青色で示します。

(5) ネットワーク接続されているクライアント数を表示します。(最大:3)

3.

: 日時を表示します

4.

: 利用可能なHDD容量および残りの推定録画時間を表示します。そして、HDDの残量が4GB以下になると、「リサイクリング」アイコンが表示されます。

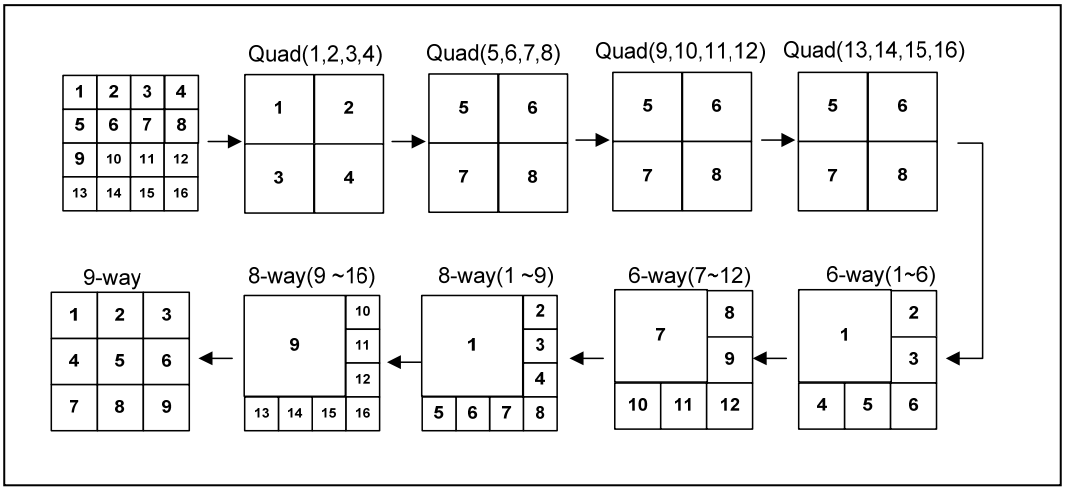
2. 分割画面表示および画面自動切替

2.1 1 画面表示

ライブまたは再生中に、1画面をアップで全画面表示したい場合は、リモコンで希望するカメラ番号に対応する数字ボタンを押します

2.2 分割画面表示および画面自動切替表示

画面分割ボタンを押すと分割画面表示になります。分割モードでは以下に示すような順序で分割方法を選択できます。画面分割ボタンを1秒間長押しすると、全画面による自動切替が始まります。自動切替モードおよび画面切替時間を設定することができます。これらの設定に関する詳細については、「画面自動切替設定」を見てください。



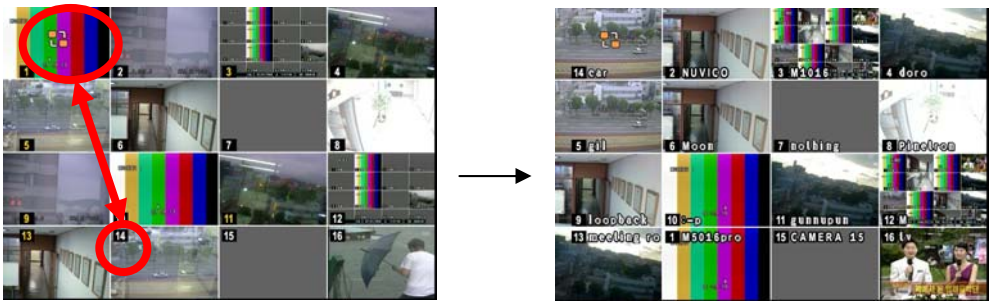
2-3. 画面移動

リモコンまたはマウスで画面を移動します。

2-3-1. マウス用リモコン

① マウスでリモコンの ボタンをクリックします。 マークが表示されると、リモコンまたはキーパッドのボタンを使い、 マークを希望するチャンネルに移動します。

② その後、チャンネルの番号を押します。変更を保存するには[Enter]ボタンを押します。



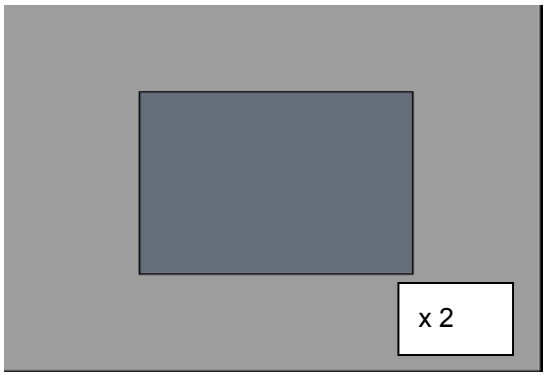
2-3-2. マウス

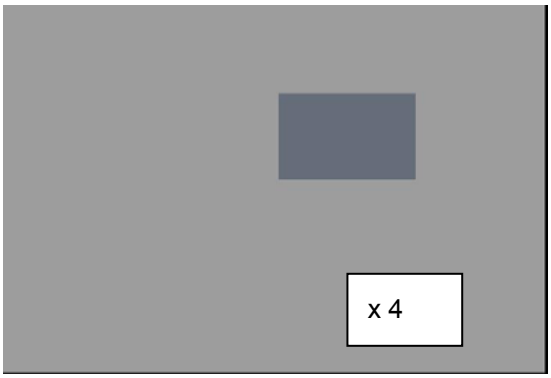
: マウスを使い画面をドラッグすると、画面の位置が変更されます。

3. ズーム機能

ライブモードまたは再生中に、画面の見たい部分を拡大して見ることができます。

1. デジタルズームを働かせるには、拡大したいカメラの映像を1画面表示します。
2. リモコンのズームボタンを押します。以下のようなズームエリアボックスが表示されます。





3. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使ってボックスを希望の位置に動かします。
4. ＋ ボタンを押すとズームイン － ボタンを押すとズームアウトします。
5. [CANCEL]ボタンを押すと通常モードに戻ります。

<注意>
分割画面の状態でズームボタンを押した場合には、ズーム機能は働きません。

4. スポットモニタ

本機に、メインモニタとは別に、スポットモニタを接続すると、メインモニタから独立した特定のチャンネルだけをモニタすることができます。

- リモコンの[Spot]ボタンを押した後、全画面で見たいチャンネルの番号を押します。
- [Spot]ボタンを2回続けて押すと、カメラは自動切替になります。画面切替時間は画面自動切替設定でセットすることができます。
- アラームが発生したときには、その特定のチャンネルが1画面表示になります。

V. メインメニューの操作

1. メインメニューの概要

DVRの電源を入れると、約30秒間の初期化の後、ライブ監視画面が現れます。メニューボタンを押すと、「管理者パスワード」ボックスが現れます。パスワードの入力にはリモコンの数字ボタンまたは、本体前面パネルの＋ － ボタンを使います。パスワードの初期設定は「000000」です。適切なパスワードが入力された後、下図のメインメニューが現れます。

〈注意〉工場で初期設定された管理者パスワードは[000000]です。DVRを設置する際には、お客様独自のパスワードに変更されることをお勧めします。参照→[システム設定]

1．方向ボタン[▲▼◀▶]を使って希望のメニューを選びます。メニューで選択された項目は、カラーで示されます。

2．[ENTER]ボタンを押すと、メニュー、およびサブメニューを表示します。左右ボタン[◀▶]を使ってタブメニューを選択します。選択された項目はオレンジ色に変化します。

*** タブメニュー間を移動した場合、自動的に変更が保存されます。**

3. **[ENTER]**ボタンを押すと、変更を保存してメニューを抜けます。
[CANCEL]ボタンを押すと、変更を保存せずにメニューを抜けます。

2. 画面

2.1. 画面設定

1. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使って「画面」を選択します。次に[ENTER]ボタンを押すと、「画面設定」が表示されます。
2. 左右ボタン[◀▶]を使用して、タブメニューを選択します。選択されている項 目は[オレンジ]色に変化します。

3. 項目を指定するには、ダウン[▼]ボタンを使います。
4. [-, +] ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
ステータスバー	• メインモニタ下部のステータスバーの表示・非表示を選択します。
カメラ	• カメラ番号の表示情報の選択
画面分割線	• カメラ映像間の分割線の色を選択します。 **[白 → グレイ → ダーク・グレイ → 黒]**
背景の色	• 映像信号がない状態の背景の色を選択します。 **[グレイ → ダーク・グレイ → 黒 → 青 → 白]**
画面分割設定	• 分割画面の種類を選択すると、その手順で表示されます。
クィック設定	•簡単設定を適用するには、“On”を選択します。詳細メニューを維持するには、“Off”を選択します。

5. 変更を保存してメニューを抜けるには、[ENTER]ボタンを押します。
   変更を保存せずにメニューを抜けるには、[CANCEL]ボタンを押します。

2.2. 画面自動切替設定

項目	初期値	調整
画面切替時間	2 秒	• 画面を自動的に切替える時間を指定します。値の変更には **[-, +]**ボタンを使用します。：**[1秒 ~ 30秒]**
切替モード	なし	• 希望する切替モードを選択します。
画面表示	全て	• 各カメラを自動切替に含めるか除外するかを選択します。

3. カメラ設定

1. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使って「カメラ」メニューを選択します。次に[ENTER]ボタンを押すと、「カメラ」メニューが表示されます。
2. 左右ボタン[◀▶]または数字ボタンを使って設定変更したいカメラの番号を選びます。
3. ダウン[▼]ボタンを使って指定したい項目に移動します。
4. **[-, +]** ボタンを使って値を変更します。

項目	初期値	調整
非表示	No	• 非表示モードが「YES」の場合、全てのライブ表示、再生およびネットワークから選択されたカメラを見ることはできません。非表示のカメラは「NO」に変更したあと表示可能です。(非表示中でも遠隔監視および録画は可能です)
輝度	50%	• [-,+]ボタンを押して、それぞれのカメラの輝度を調整します。
コントラスト	50%	• [-,+]ボタンを押して、それぞれのカメラのコントラストを調整します。
カラー	50%	• [-,+]ボタンを押して、それぞれのカメラの色の濃さを調整します。
カメラ名称	CAMERA # (#はカメラ番号です。)	• それぞれのカメラにアルファベットと数字で半角12文字までの名称をつけることができます。カメラ名称の入力には数字ボタンを使用します。数字ボタンと文字の関係は下表を参照してください。CMSソフトを使用すると、全角9文字までの漢字も利用可能です。
P/T/Z モデル	None	• 制御しようとするP/TZカメラの機種を選択します。
P/T/Z ID	カメラ番号	• PTZカメラに割り当てられたチャンネルを選択します。カメラIDはカメラ・アドレスを意味します。

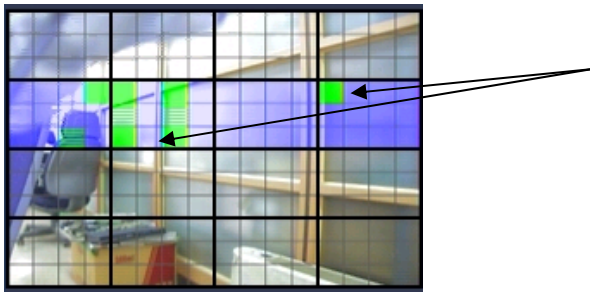
5. 変更を保存するには、[ENTER] ボタンを押します。
   変更を保存せずにメニューを抜けるには、[CANCEL] ボタンを押します。

No	1回押し	2回押し	3回押し	4回押し	No	1回押し	2回押し	3回押し	4回押し
1	A	B	C	1	7	S	T	U	7
2	D	E	F	2	8	V	W	X	8
3	G	H	I	3	9	Y	Z	@	9
4	J	K	L	4	0	.	-	_	0
5	M	N	O	5	10+	SPACE			
6	P	Q	R	6					

<リモコンからの文字入力**>**

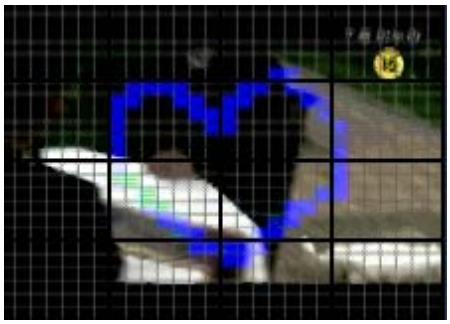
4. モーション

1. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使ってモーションメニューを選択します。次に[ENTER]ボタンを押すと、「モーション」メニューが表示されます。
2. 左右ボタン[◀▶]または数字ボタンを使って設定変更したいカメラを選択します。
3. ダウンボタン[▼] 、左右ボタン[◀▶]を使って設定したい項目を選択します。
4. [-, +] ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
録画時間	• モーションが検知されて、それから検知されなくなってからの録画時間を決定します。 [10秒 ~ 300秒：10秒ステップで全チャンネル共通]
カメラ選択	• 左右ボタン[◀▶]または数字ボタンを使って設定変更したいカメラを選択します。
感度設定	• 数字が大きくなるほど敏感になります。（1：低感度 ～ 20：高感度）
エリア設定	• このメニューを使ってモーションを検知する画面上の範囲を設定します。下の画面のように、現在のビデオ映像に重なって表示されます。 • これは、格子状に16個に分割され、リモコンの数字ボタンで選択します。 • ：全て選択 • : 全て解除 • モーションが検知された位置は緑色に変化します。  モーション検知位置

- **<+>**ボタンを使って検知範囲選択状態にします。走る人のアイコン が表示されます。**<+>**ボタンを使って選択と解除、**<->**ボタンでこの状態から抜けます。

- また、CMSを使用すると、より細かな範囲設定を行うことができます。



5. 変更を保存してメニューを抜けるには**[ENTER]**ボタンを押します。次に、「録画」メニューへ移動します。
6. 下図のように各カメラのモーション検知を“**ON**”または“**OFF**”で選択します。

7. **REC**ボタンを押すと、モーション検知時に、設定された画質とフレームレートに従ってモーション録画が開始されます。モーション録画時間が過ぎると、録画を一時停止し、待機状態に戻ります。待機状態のカメラは録画されません。

〈注意〉モーション録画中に再度モーションを検知した場合には、録画を延長します。
〈注意〉モーション検知機能は、映像信号の状態や他の原因によって正しく動作しない場合があります。
〈注意〉より確実なモーション録画のために、少なくとも3箇所のモーションエリアを選択されることをお勧めします。

5. 録画

DVRは、工場出荷時に、ある程度基本的な設定がされています。そのためDVRを設置して 録画 ボタンを押すだけで、すぐに録画が可能です。初期設定では、音声、アラーム、モーション録画は OFF になっています。

1．方向ボタン[▲▼◀▶]で「録画」メニューを選択します。次に [ENTER]ボタンを押すと、「録画」メニューが表示されます。

2．方向ボタン[▲▼◀▶]を使って、設定変更したいカメラを選択します。

3．[-, +] ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
使用	• 各カメラの録画のON・OFFを切り替えます。
画質	• 各カメラの録画画質を指定します。 BEST → SUPER → HIGH → MIDDLE →LOW
コマ数/1秒間	• 各カメラの録画スピードを選択します。 : FRAME・FIELDおよびCIFモードの録画サイズに関しては参照→システム
音声	• 録音の ON・OFFを選択します。 リアルタイムを含む様々なモードで記録できる映像データとは異なり、音声データは常にリアルタイムで記録されます。 映像に対して音声は、わずかに遅れる場合があります。
モーション	• モーション録画の ON・OFF を選択します。動きを検知しない状態のカメラはモーション録画されません。これは、モーション録画のページで説明されます。

<注意>行の各項目で**[DISPLAY]**ボタンを押すと、残り全てのチャンネルに、その行の設定が適用されます。

4. 変更を保存してメニューを抜けるには[ENTER]ボタンを押します。
5. リモコンの[REC]ボタンを押すと、フロントパネルの赤いLEDが点灯し、録画が開始されます。
6. 録画を停止するには、リモコンの[STOP]ボタンを押すか、フロントパネルの[REC]
ボタンを再度押します。

<ファイルサイズの目安>

画質	解像度			単位
	720x480	720x240	360x240	
LOW	5.1	3.2	2.0	KB/枚
MIDDLE	7.2	4.5	2.8	KB/枚
HIGH	10.2	6.4	4	KB/枚
SUPER	15.4	9.6	6	KB/枚
BEST	24.6	15.4	9.6	KB/枚

* これは理論的な計算値です、そのため、実際の映像信号や、その他の条件によって、
値が異なる場合があります。

6. アラーム録画

アラーム録画を始める前に、アラーム設定を確認してください。「アラーム」の設定は「録画」設定から、独立しています。また、アラーム録画は、アラーム録画を有効にしなければ開始されませんので注意してください。

6.1. 録画設定

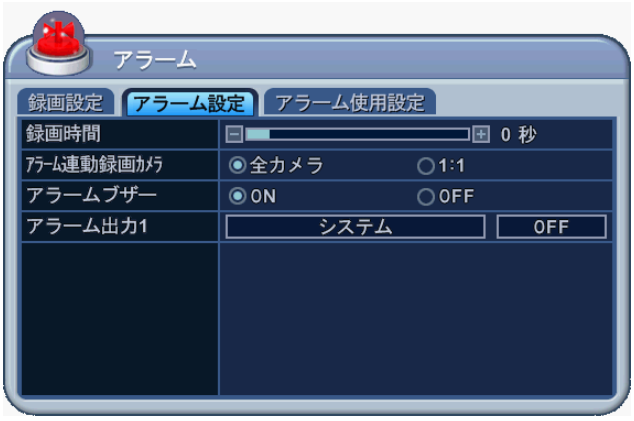
1. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使って「アラーム」メニューを選択します。次に[ENTER]ボタンを押すと、「アラーム」メニューに入ります。
2. 左右ボタン[◀▶]タブメニューを選択します。
3. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使って設定変更したいカメラを選択します。
4. **[-, +]**ボタンを使って値を変更します。

項目	調整
使用	• 各カメラのアラーム録画のON・OFFの選択。
画質	• アラーム録画する各カメラの録画画質指定。 BEST → SUPER → HIGH → MIDDLE → LOW
コマ数/1秒間	• アラームが起きたときの各カメラの録画速度を選択します。
音声	• 音声録音の選択: ON・OFF.
入力	• アラーム入力機器の指定（NO・NC）

※ 行の各項目で**[DISPLAY]**ボタンを押すと、残り全てのチャンネルに、その行の設定が適用されます。

5. 変更を保存してメニューを抜けるには、[ENTER]ボタンを押します。
   変更せずにメニューを抜けるには、[CANCEL]ボタンを押します。

6.2. アラーム設定



項目	調整
録画時間	• アラーム信号が有効になったあと、無効になってから録画を継続する時間を決定します。[10～300秒]
アラーム連動 録画カメラ	• **全カメラ：** 任意のアラーム信号が発動した場合、アラーム「ON」の全てのチャンネルの録画を開始します。 • **1:1：** アラームが発動したチャンネルの録画を開始します。
アラームブザー	• **ON:** アラームが発動した場合にブザーを鳴らします。ブザーは録画時間の間、鳴り続けます。このブザーはアラーム出力と連動します。アラーム・ブザーを鳴らすにはアラーム出力を「ON」に設定してください。 •**OFF:** アラームブザー機能を無効にします。 **<ノート> [-]**ボタンを押すと、すぐにブザーが止まります。ブザーを止めてもアラーム録画は止まりません。
アラーム出力1	• 各カメラのアラームが発動したとき、どのリレーを動作させるかを設定します。4つの利用可能なオプションから選択します。 ビデオロス、モーション、アラーム全て、各アラーム、システム **<ノート>** 「システム」が選択されている場合、HDD故障やファン・ロック等のようなシステムの問題の時にリレーが動作します。 • [Cancel] ボタンを押すと、アラーム出力を停止します。 クリアする順序： アラーム>モーション> ビデオロス

1. 変更を保存してメニューを抜けるには**[ENTER]**ボタンを押します。
2. **[REC]**ボタンを押すと、フロントパネルの赤いLEDが点灯し、録画が開始されます。

6.3. 録画モードの優先順位

<例1>

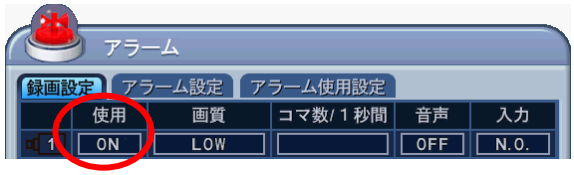
録画	
使用	モーション
OFF	OFF

アラーム
ON

●結果として生じる動作:

[REC]ボタンを押すと、アラームが起きたときに、設定に従って、録画画質(HIGH)、フレームレート(１５F/S)、そして録音無効の条件でアラーム録画を開始します。「録画時間」が終わった後、待機モードに戻ります。カメラが通常の条件では録画しません。

<例2>



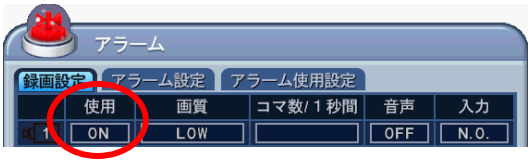
録画	
使用	モーション
ON	OFF

アラーム
ON

●結果として生じる動作:

[REC] 録画ボタンを押すと、音声なし、画質「LOW」でノーマル録画が開始されます。このチャンネルでアラームが発動されると、音声なしの画質「HIGH」、フレームレート(１５F/S)に変更されます。アラーム録画持続時間が終わると、ノーマル録画に戻ります。

<例3>



録画	
使用	モーション
ON	ON

アラーム
ON

●結果として生じる動作:

[REC]ボタンを押すと、モーションを検知したときに音声なしの画質「LOW」でモーション録画が開始されます。このチャンネルでアラームが発動されたとき、音声なしでフレームレート15F/Sの画質「HIGH」録画に変更されます。アラーム録画持続時間が終わった後、アラームまたはモーションのための待機に戻ります。通常の状態では録画されません。.

<注意> ＊２個以上の録画モード(アラーム、モーション、ノーマル)の作動中にはアラームー>モーションー>ノーマル順に従い、録画設定を適用します。

7. 予約録画

スケジュールチャートは設定された録画モードをグラフで表示します。モード1～4のスケジュールが設定された場合に限ってスケジュールが表示されます。

1. 方向ボタン[▲▼◀▶]で「予約」メニューを選択します。次に[ENTER]ボタンを押すと、「スケジュールチャート」が表示されます。
2. 左右ボタン[◀▶]を使ってタブメニューを選択します。
3. ダウンボタン[▼]を使って設定変更したい日を選択します。

曜日毎に8つのカテゴリに分類されています。毎日、日、月、火、水、木、金、土

4. 設定したいカテゴリで**[Enter]**ボタンを押します。下に示したように、選択された曜日の詳細メニューがポップアップされます。

5 . 開始と終了の時刻を入力し、それから録画モードを選択します。

(1) 開始： 録画をスタートする時刻。

(2) 終了： 録画を終える時刻。終了時刻を開始時刻より前や、同じ時刻にならないようにします。終了時刻は開始時刻より後にしてください。

(3) モード： 予約録画用に使用する録画モード選択します。(モード1～4)

6 . 以下モードの定義

* 参照→ノーマル録画設定

<ノート>

- 録画時刻は24時制でセットします。(00：00 - 23：59).日付を超える場合は2日分設定します。

曜日	開始	終了	モード
月	18:00	23:59	モード 1
火	00:00	08:59	モード 1

- 終了時刻が開始時刻より前の場合は、録画は開始されません。

例)

曜日	開始	終了	モード
月	18:00	08:59	モード 1

7 . 設定の後、予約録画を有効にするために、予約録画ボタンを押します。予約インジケータが点灯します。プログラムが現在時刻と重なっている場合、録画インジケータが点灯し、ユニットは録画を開始します。録画予約のスケジュールがない場合には、録画されないので注意してください。

8 . 予約録画時間が終わると、録画インジケータが消灯し、録画は停止します。

9 . 予約録画中に録画を停止したい場合、予約録画ボタンを押します、予約インジケータが消灯して予約録画モードが解除されます。

組み合わせの概要

録画モード	メニュー	録画		アラーム		予約録画
		カメラ	モーション	使用	ノーマル	モード 1~4
ノーマル	録画	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
モーション	録画	ON	ON	OFF	OFF	OFF
アラーム	ALARM	OFF	OFF	ON	ON	OFF
予約録画	予約録画	OFF	OFF	OFF	OFF	ON
予約、モーション	予約録画	OFF	ON	OFF	OFF	ON
ノーマル、アラーム	録画 & アラーム	ON	OFF	ON	ON	OFF
モーション、アラーム	録画 & アラーム	ON	ON	ON	ON	OFF
予約、アラーム	アラーム & 予約	OFF	OFF	ON	OFF	ON

8. ネットワーク設定

お客様がインターネット接続契約で固定IP契約をしている場合には、契約期間中は一定のIPアドレスを利用可能です、動的IPアドレスでのご契約の場合には、モデムを接続する度または、ある一定の時間毎にIPアドレスが変化します。多くのインターネットプロバイダが、両方のサービス
を提供しています

8.1. IP アドレス設定

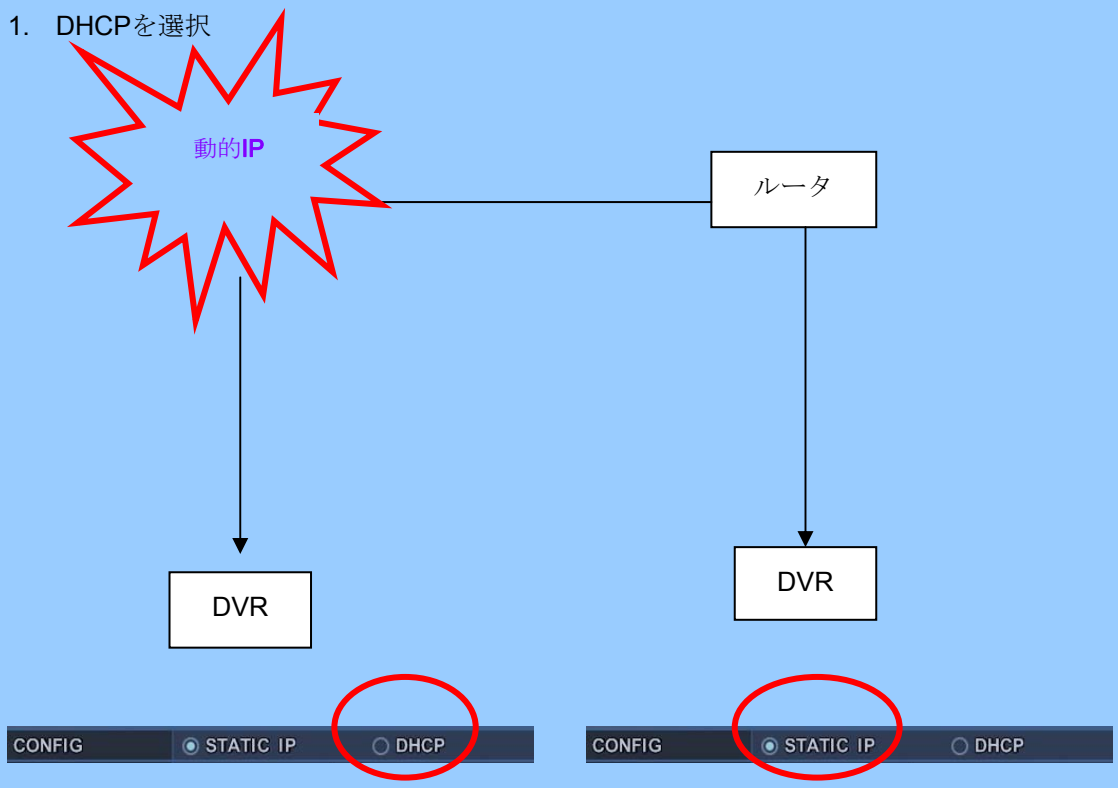
1. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使ってネットワークメニューを選択します。それから[ENTER] ボタンを押すと「ネットワーク」が表示されます。
2. ダウンボタン[▼]を使って詳細を指定します。
3. [-, +] ボタンを使って値を変更します。
4. 変更を保存し、メニューを抜けるには[ENTER]ボタンを押します。
   変更せずにメニューを抜けるには [CANCEL]ボタンを押します。

項目	調整
IPアドレス	• 固定： IPアドレス、ゲートウェイおよびサブネットマスクを指定 • 自動： DHCPサーバがからIPアドレスを取得する場合に設定します。インターネットに接続されたLAN環境では、ルータにMACアドレスを登録して特定の端末にポート転送できる機能がある機器を使用してください。 ホスト名はDVR毎に固有で、「L10020E」のように表示されます。
IPアドレス	• ローカルを入力します。
サブネットマスク	• サブネットマスクのIPアドレスを入力します。
デフォルトゲートウェイ	• デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。
DNSサーバー	• ドメイン・ネーム・システムを確認します。

ポート設定	• 「0000」～「9999」を選択します。 初期設定されたポート「7000」が塞がれている場合にはDVRの接続ポートを変更することができます。通常は「7000」でご使用ください。
自動ポート	• 自動ポートフォワーディング(auto port forwarding) ：追加ボタンを押すと、ポートが自動的に設定されます。
STATUS	• 自動ポートの成功・失敗の結果が表示されます。

<注意> DHCPの場合にネットワーク経由でDVRを接続するには。

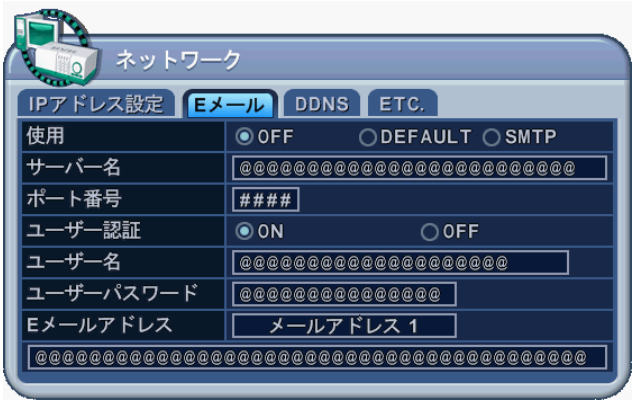
1. DHCPを選択



2. システムメニューの「ホスト名」を確認してください。
3. WebブラウザまたはCMSでDNS名を入力<例: http://L10020E.dvrhost.com:7000>

8.2. Eメール

DVRはイベントが起きたときに、5箇所までの指定されたEメールアドレスにE-mail送信できます。アラームと画像ファイル、ビデオロス、停電(停電が復旧したとき)、HDD故障



Eメール送信の2種類の方法; 「固有」または「お客様自身や一般のメールサーバ」の使用

項目		調整
使用	OFF	• E-mail通知のON OFFを設定します。初期設定はOFFです。
	Default	• メールサーバを選択。「Default」はメーカーによりサポートされています。 : お客様でSMTPサーバの設定は不要です。
	SMTP	• メールサーバの選択。SMTPの設定は以下のSMTPメニューから行います。
SMTP	サーバー名	• SMTPサーバを反転表示で選択し、そして次に数字ボタンを押してE-mailサーバを設定します。
	ポート番号	• SMTPサーバとの通信に使用するポートを設定します。
	ユーザー認証	• 認証のON OFFを選択します。初期設定は OFF です。
	ユーザー名	• メールサーバが認証を必要とする場合、メールサーバのユーザーIDを入力します。 (大文字で表示されますが小文字として認識されます)
	ユーザー・パスワード	• メールサーバが認証を必要とする場合、パスワードを入力します。 (小文字として認識されます。大文字非対応)
Eメールアドレス		• 通知を送りたいEメールアドレスを入力します。

8.3 DDNS

DVRが動的IPアドレスの契約でインターネットに接続されている場合、外部のCMSから接続しようとしても、接続先のIPアドレスを特定することができません。そのような条件下で予め決められた名前（ホスト名とドメイン名の組み合わせ）で、DVRのIPアドレスを特定し、接続を可能にするしくみがDDNSです。

項目	調整
使用	• OFF： DDNS機能を使用しません。 • DEFAULT：初期設定された「dvrhost.com」ドメインを使用します。 例えば、DVRのホスト名(システム情報を参照)が「L50AD25」の場合、DVRのDDNSアドレスは以下のようになります。http://L50AD25.dvrhost.com:portNO . • DYNDNS： 米国「dyndns.com」のDDNSサービスを利用する場合に使用します。(※dyndns.comは事前に利用登録(英語)が必要です)
DOMAIN NAME	• 「DYNDNS」または、自身のドメインを使用する場合にドメイン名を入力します。
ユーザーID	• DDNS用のユーザーIDを入力します。
パスワード	• DDNS用のユーザーパスワードを入力します。
DDNS Test	• DDNSアドレスのテスト用

8.4. その他

項目	調整
使用帯域幅	• 初期設定は「無制限」です。「64 Kbps~ 1Mbps」から選択

9. システム設定

9.1. 設定

1. 方向ボタン[▲▼◀▶]を使って「システム」メニューを選択します。次に[ENTER]ボタンを押します。
2. 左右ボタン**[◀▶]**を使ってタブメニューを選択します。
3. ダウンボタン**[▼]**を使って詳細を指定します。
4. **[-, +]**ボタンを使って値を変更します。
5. 変更を保存してメニューを抜けるには**[ENTER]**ボタンを押します。
   変更せずにメニューを抜けるには**[CANCEL]**ボタンを押します。

項目	調整
自動キーロック	•スクリーンセーバーのように、操作をしなくなった3分後、DVRの全てのボタンをロックします。ボタンのロックはユーザーパスワードで解除できます。初期設定は「OFF」です。
キー操作音	• DVRはボタン操作時にビープ音を発するように初期設定されています。キー操作音を止めたいときには「OFF」にセットします。
録画サイズ	•CIF, 4/8Ch: 各カメラの録画解像度を360×240 に設定します。 •Field, 4/8Ch: 各カメラの録画解像度を720×240に設定します。 •Frame, 4/8Ch: 各カメラの録画解像度を720×480に設定します。 •Frame + CIF : 初期設定 チャンネル1 : 720x480(720x576) + チャンネル 2~8 : 360x240(360x280)
再生時映像補正	•**ON**：映像のちらつきを軽減しますが、画質が低下します。 •**OFF:** 良い画質が得られますが、動きがあると、ちらつきます。
起動時録画設定	· **ノーマル録画**： このチェックボックスがチェックされている場合、装置を起動すると、自動的にノーマル録画が開始されます。

	· **予約録画**：このチェックボックスがチェックされている場合、 装置を起動すると、自動的に予約録画が開始されます。
パスワード	· **OFF:** 「電源OFF」「録画停止」「予約録画停止」以外では、 パスワードウィンドウが表示されなくなります。(初期設定：ON)
工場出荷時設定	• DVR を工場出荷時の初期設定化します。 （実行前、録画を停止してください。）
タッチキー感度	• 前面パネルのタッチボタンの感度を設定します。

9.2. 日時設定

項目	調整
日付	• 日付を入力します。
時刻	• 時刻を入力します。
時刻同期	DVRがネットワークに接続されていると他のDVRやPCの時刻に合わせることが出来ます。 • ON: 指定した時刻サーバーにDVRの時刻を合わせます。 • OFF(デフォルト): DVRが時刻サーバーになる場合と、時刻同期使用しない時にチェックします。 “DVR TimeSyncInstller.exe”プログラムを設置します。 プログラムが実行されると“UDP4014 Port”を通じ通信を始めます。
時刻サーバー	• 時刻サーバーになるDVRやPCのIPアドレスを入力します。

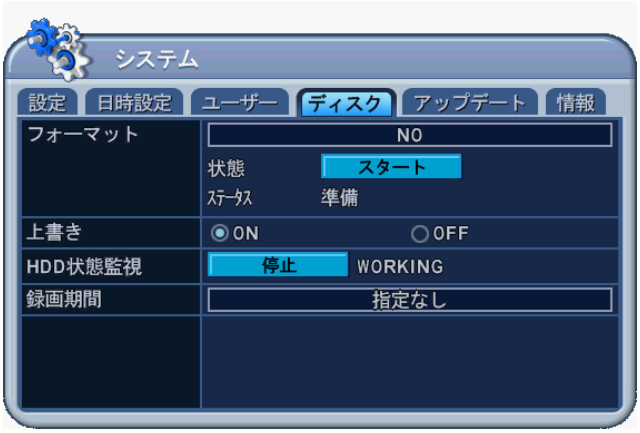
＜ノート＞録画中には時間設定ができません。時間設定をする前に録画を停止してください。

9.3. ユーザー設定

管理者は、それぞれのユーザーの権限を設定することができます。ユーザー1～5を選択し、「使用」オプションの「ON」か「OFF」で選択します。「ON」のときは、「権限」の設定が個々にチェック可能です。権限の種類には、「モニタリング」「再生」「バックアップ」「設定(メインメニュー)」「ネットワーク」「シャットダウン（電源OFF）」があります。

「新しいパスワード」欄には、6桁の数字を入力します、次に同じパスワードを「再入力」欄に再入力し 決定 ボタンを押し、両者の番号が一致するとパスワード変更が有効になります。番号が入力されるとアスタリスク(＊)は自動的に進みます。

9.4. ディスク



項目	調整
フォーマット	1. ディスクフォーマットの前に録画や再生を完全に止めます。 2. **[-, +]**ボタンを使ってフォーマットする機器を変更します。 ＊内蔵HDD ＊USB(背面) ＊USB－CD/DVD－RW ＊USB－HDD <ノート>USB-HDDをフォーマットすると、FAT３２タイプになります。 3. ダウンボタン[▼] で【スタート】に移動し、**[+または–]**ボタンを押します。 4. フォーマットが始まり、進行状況はウィンドウ下部に表示されます。HDDのフォーマットには10～30秒かかります。 5. フォーマットが終了すると、「完了」と表示されます、ウィンドウ下部には「成功」と表示されます。
上書き	内蔵ハードディスクドライブの録画方法を選択します。初期設定では、ハード・ディスク・ドライブがいっぱいになると古いデータに上書きして、録画を継続します。 •ON: ハードディスクがいっぱいのとき、内蔵HDDの最も古いファイルから順にデータを上書きして、録画を継続します。 •OFF: HDDがいっぱいになった後は録画を停止します。
HDD状態監視	• HDD故障が起きると自動的にモニタリングを中止します。DVR再起動後は、モニタリングを開始します。（開始と停止には**[-, +]**ボタンを使用します。）
録画期間	現在の時刻より、設定した期間を除いてその前のデータを自動的に HDD から削除します。 [指定無し → 12 時間 → 1 日間~ 6 日間 → 1 週間 ~ 4 週間]

9.5. アップデート

1) 最新のファームウエアをダウンロードし、USB メモリーにコピーします。
(特定のフォルダは必要ありません。)

> **<ノート >:** ファイルを完全にダウンロードしたのかを確認してください。
> ファイル名（例）: m2k_all.00.00.00.img

2) 録画中には録画を停止します。
3) USB メモリーを背面パネルに差込み、ステータスバーにアイコンが表示されるかを確認します。
4) システムの UPDATE メニューに移動し、 [+]または[enter] ボタンを押します。
5) アップデートが終わると、“Success”メッセージが表示されます。その後、自動で再起動されます。

> ***ノート1 :*** ウィンドウで USB メモリのフォーマットは必要ありません。
> ファイルだけを削除してください。
> ***ノート2:*** アップデート中には電源 OFF やボタンなどを押さないで下さい。
> ***ノート3.*** アップデート前 DVR プロバイダーに相談ください。
> ***ノート4.*** 録画中にはアップデートできません。アップデートの前、録画を停止してください。

表示	説明
H/W VERSION	• メインPCBバージョンを示します。
S/W VERSION	• ソフトウエアのバージョンを示します。

9.6. システム情報

リモコンの システム情報 ボタンを押すと、システム情報が表示されます。他のタブへの移動は拒否されます。このメニューは下表のような情報を提供します。

表示	説明
言語	• 表示する言語を変えることができます。(録画中に言語変更は出来ません。)
モデル	• チャンネル数、圧縮方式を表示します。
ホスト名.	• ホスト名を表示します。
MAC	• MACアドレスを表示します。
ネットワーク	• 現在のIPアドレスとポート番号を表示します。
内蔵HDD	• HDDの数と合計の容量を表示します。
USB PORT	• どのような機器が背面のUSBコネクタに接続されているかの表示。
MOUSE PORT	• 前面パネルにマウスが接続されているかを表示。
IDE BUS	• Primary HDD 状態を表示します。A ： Master, B： N/A <ノート> HDDがS.M.A.R.T機能をサポートする場合に表示されます。 「警告」と表示される場合には新しいHDDに交換してください。 ＊「エラー」は物理的に破損したHDDを意味します。

VI. カメラ制御

1. P.T.Zメニュー

1. P/T/Z制御を有効にするには、制御したいカメラを1画面表示します。
2. **[P/T/Z/FOCUS]**ボタンを押します。下図のようにショートカットメニューボックスが表示されます。

<ノート> 特定の制御に関しては参照→ヘルプメニュー

ボタン	機能
[ENTER] ボタン	• このボタンを押すと 「ヘルプ」 メニューが表示されます。決定 ボタンをもう一度押すとヘルプメニューを取り消すことができます。
[CANCEL] ボタン	• このボタンを押すとカメラ制御の操作を中止します。
[MENU] ボタン	• P/T/Zカメラ制御インターフェースの、全機能を使用可能にする拡張メニューに切り替えます。もう一度このボタンを押すと、元の簡易なメニューに戻ります。

	• チルト・上下移動の制御 • パン・左右移動の制御
	• ズームイン・ズームアウトの制御

カメラ制御インターフェースの表示位置は、DVR前面またはリモコンのボタン位置と合っています。カメラ制御インターフェースモードのときは、全てのボタンがカメラ制御関係の操作のために使用されます。

**** P/T/Z制御カメラご使用の前に以下の項目をご確認ください。**

1. RS 422/485 接続、カメラのジャンパ設定値

2. 本機の「カメラ」メニューの「**P/T/Z ID**」および「**P/T/Z**モデル」の設定

2. プリセット & ツアー

ボタン	機能
	プリセット位置設定：リモコンの スポット アウト カメラを希望の場所に動かします。 プリセット設定 ボタンを押します。 「カスタム 1」 が点灯します。 プリセット位置のために#をセットします。 決定 を押すと保存して抜けます。
	プリセット選択： リモコンの システム情報 ボタン Go to ボタンを押します。 希望するプリセット#を入力し Enter ボタンを押します。
	オートツアー開始：リモコンの バックアップ ボタン オートツアー ボタンを押します。 ＋ ボタンを押し、プリセットの範囲を入力し、決定 を押します。 例えば、オートツアー ボタン+5 はPTZ カメラのプリセット1～5のツアーを開始します。

3. カスタム機能

ボタン	機能
	PTZカスタム機能 1; リモコンのDISPLAYボタン

	PTZカスタム機能 2; リモコンのZOOMボタン
	PTZカスタム機能 3; リモコンのP/T/Zボタン

適切なジャンパ設定のために、P/T/Z制御カメラのメーカーのマニュアルを参照し、DVRとのプロトコルを合わせてください。

4. P/T/Zカメラ・モデル ― パン/チルト/ズーム カメラ リスト

#	P/T/Z モデル	3X	速度	機能設定	方向指示	ﾂｱｰ	A. Pan	A.Tilt	Pat	Me	Esc/ Enter
1	NUVICO, NV 9600 BPS	o	o	o	o	o			o	o	o
2	MERIT LILIN, PIH-7000/7600	o	o	o	o	o	o			o	o
3	VCL, Orbiter Microsphere		o	o	o	o					
4	SAMSUNG, SCC-641		o	o	o	o	o			o	o
5	NEC, NC-21D		o	o	o	o					
6	SUNKWANG, SK2107		o	o	o	o	o				
7	RESERVED		o	o	o	o	o				
8	D-MAX, PTZ PROTOCOL		o	o	o	o	o	o			
9	LG, LPT-A100L P/T/Z						o				
10	HONEYWELL, GCC-655N										
11	WONWOO, PT-101						o				
12~14	PELCO, D 2400~9600	o	o	o	o	o	o		o	o	
15	C&B TECH, AN200			o	o	o					
16	CANON, VC-C4			o	o	o					
17~19	PELCO, P 2400~9600	o	o	o	o	o	o		o	o	
20~22	PELCO, EP 2400~9600		o	o	o	o					
23	PANASONIC, WV-CS/W85x,86x		o	o	o	o				o	o
24	HONEYWELL, HSDN-251N/P		o	o	o	o					

25	GE/KALATEL, CyberDome		o	o	o	o	o				
26	DY ELEC, SmartDome		o	o	o	o	o				
27	BOSCH, TC8560/TC700		o	o	o	o					
28	SYSMANIA, ORX1000										
29	AD, DELTADOME		o	o	o	o			o		
30	HUNT, HTZ-2300		o	o	o	o	o	o			
31	HAZEM, RESERVED			o	o	o	o				
32	RVT, EZ Protocol	o	o	o	o	o			o	o	o
33	LG, MULTIX		o	o	o	o			o		
34	ELMO, PTC-200C/400C		o	o	o	o					
35	NICECAM, MP-1xxx		o	o	o	o					
36	C&B TECH, CNB-PTZ102			o	o	o	o	o			

<ノート> スピードのステップは **0~8**

1 (低速) ～ 8 (高速) * 0 – スピードはグラフが長くなるほど高速になります。

VII. 検索・再生

1. 時間検索

1．再生を始めるには、 **[Time Search]** ボタンを押し、下図の時間検索カレンダーメニューが表示されます。

2. 左右ボタンを使って年、月を選択します。

<ノート> 前後の月にデータが保存されていない場合、年月を変更することはできません。
<ノート> データの種類による色分け：アラーム(赤) ＞ モーション(緑) ＞ ノーマル(黄)

3. アップ・ダウンボタン[▲▼]で で日付を選択します。DVRに保存された録画映像の選択されたデータはグラフ状の表現で表示されます。

4. 再生したい「時・分」や「カメラ」を選択します。次に**[ENTER]**ボタンを押します。

<ノート>
時、分 ： 分割画面表示
カメラ ： １画面表示

5. 再生を開始するには**[ENTER]**ボタンを押します。

2. ログリスト検索/アラーム、モーション検索

ログは録画時点のデータを直接検索および確認することができます。アラーム、モーション、ビデオロスおよびシステム関係のログを直接検索/発生時刻からの再生ができます。

1. イベント検索を始めるには、リモコンの**[FF]**ボタンを押すと、下図のようにログ・リスト・メニューのポップアップが表示されます

メニュー・タブ	状態
オール	• 初めてDVRの電源を入れてからの全てのログ
システム	• ネットワーク、アラーム、モーション、ビデオロス以外の全てのイベント
ネットワーク	• ネットワークアクセスのリスト
アラーム	• アラームのリスト
モーション	• モーションのリスト
ビデオロス	• ビデオロスのリスト

2. アップ・ダウンボタン[▼▲]で再生したい「時間」へ、左右ボタン[◀▶]で次のページへ移動できます。

3.**[ENTER]**ボタンを押すと、再生を開始します。

<ノート> ログリストはHDDに保存されます。

<ノート> ログを外部に保存するには、背面のUSBポートにUSBメモリーを接続し、それぞれの分類でDisplayボタンを押すと、ログデータがバックアップされます。

VIII. バックアップ

1. 外部USBメモリー

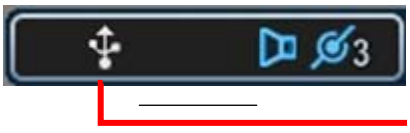
1. USBメモリーを前面パネルのUSBポートに接続します。

<ノート>

バックアップ前、USBメモリーの容量が十分なのかを確認してください。

2. 前面パネルの[BACKUP]ボタンを押すと、バックアップメニューが表示されます。

3. **[-, +]** ボタンで選択します：USB(前面)メモリー・スティック
4. バックアップするデータを選択します。
   (1) ノーマル: ノーマル録画データ
   (2) アラーム: アラーム録画データ
   (3) モーション: モーション録画データ
   上のイラストでは全てのカメラ、ノーマル、アラームおよびモーションデータが選択されています。
5. 期間は24時間で入力し、次へ移動します。
6. **[ENTER]**ボタンを押し、バックアップを開始します。
   * バックアップ中にUSBアイコンが青に点灯します。
   • 容量が不十分の場合、バックアップされません。



USBメモリーアイコン

- バックアップインジケーターが画面の下部に表示されます。

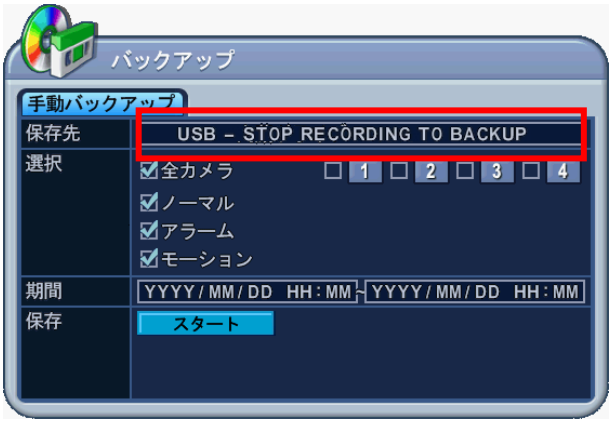
7. バックアップが終わると、アイコンは白に戻ります。

2. 外部 USB HDD バックアップ

2.1 バックアップの前、下記のノートを参考してください。

<ノート *1.*>

外部HDDやCD/DVD –RWのバックアップの前、録画を停止してください。



<録画モード>

<ノート *2.* >

PCまたはDVRでUSB HDDをFAT 32タイプにフォーマットします。

FAT 32タイプでフォーマットされないと次のようなメッセージが表示されます。

“USB – HDD (フォーマット必要) → 9.2 ディスク参照

2.2 バックアップするには

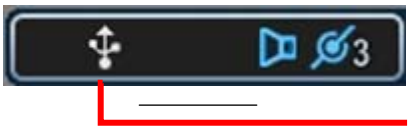
フォーマットは “システム>ディスク” 参照

1. USBコネクタを前面パネルのポートに接続します。
2. [バックアップ]ボタンを押すと、メニューが表示されます。

3. **[-, +]** ボタンでデバイスを選択します。 : USB – HDD
4. バックアップするデータを選びます。
   A. ノーマル: ノーマル録画データ
   B. アラーム: アラーム録画データ
   C. モーション: モーション録画データ
5. 期間 : バックアップするデータの範囲を指定します。次に スタート へ移動します。
6. **[ENTER]** ボタンを押し、バックアップを開始します。

   * バックアップ中にUSBアイコンが青に点灯します。

   • 容量が不十分な場合、バックアップは進行されません。



USB メモリアイコン

   ● バックアップ中には再生しないで下さい。.
7. バックアップが終了すると、USB アイコンは白に変わります。

<参照. FAT 32 フォーマット>

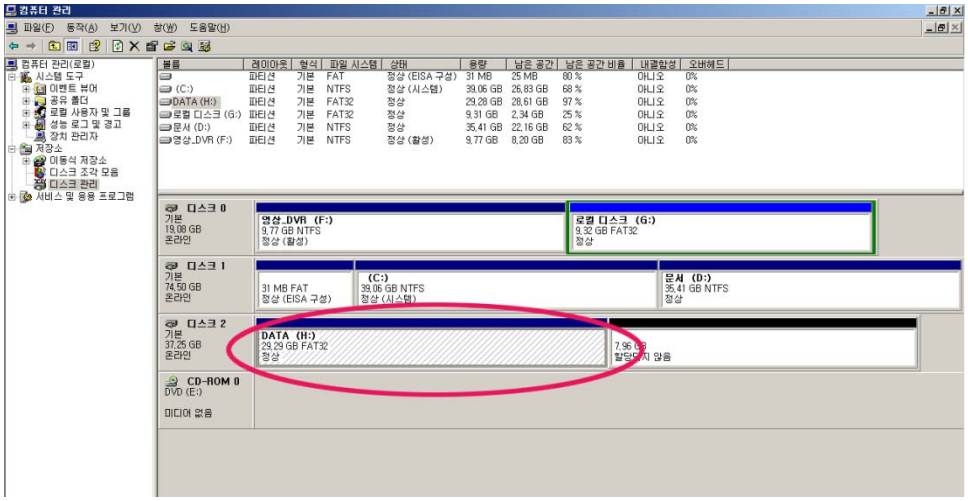
HDDをFAT32タイプにフォーマットするには次の二つの方法があります。

1-1. DVRのシステムメニューで外部USB HDDをフォーマットする方法

<ノート> HDDの容量に関係なくFAT32タイプにフォーマットされます。

1-2. 外部 HDDの32Gをフォーマットする方法

(MicrosoftはNTFSを推奨するため、WindowsではFAT32タイプ_32GBのパーティションのフォーマットをサポートします。)



2. DVRで外部HDDにバックアップを始めます。

3. バックアップされたデータを見るにはCMSプレーヤーを利用します。

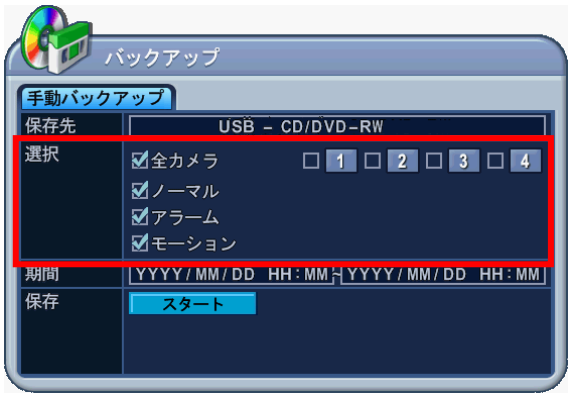
<ノート>

- *Window PCではFAT 32 フォーマットのみ利用できます。*
- *バックアップしたFAT 32 フォーマットディスクのデータは DVR で再生できません。*

3. 外部CD/DVD –RW バックアップ

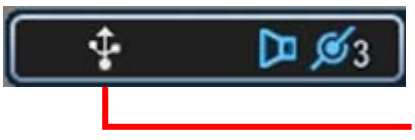
<ノート>
外部HDDやCD/DVD –RWにバックアップするときは録画を中止してください。

1．前面パネルのUSBポートにUSBを接続してください。
2．[BACKUP] ボタンを押すと、メニューが表示されます。



<ノート>
- *CD/DVD-RWバックアップの際に、項目の選択はできません。*
  全カメラ、ノーマル、アラーム、モーションのデータがすべてCD/DVD-RWにバックアップされます。

3．**[-, +]** ボタンでデバイスを選択します。: USB – CD/DVD-RW
4．期間：バックアップするデータの範囲を指定します。次に スタート へ移動します。
5．**[ENTER]** ボタンを押し、バックアップを開始します。
* バックアップ中にUSBアイコンが青に点灯します。
• 容量が不十分な場合、バックアップは進行されません。



USBメモリアイコン

● バックアップ中には再生しないで下さい。

6．バックアップが終了すると、USB アイコンは白に変わります。

4. バックアップデータを再生するには

1．‘MCDプレーヤー’を利用します。（バックアップすると、自動的にファイルがコピーされます。
2．パソコンで、‘MCDプレーヤー’を実行します。(下図)

<ノート>　バックアップデータは[ローカルプレーヤー]でも再生できます。

5. バックアップ範囲設定

バックアップ範囲は、バックアップメニューに入る前に時間検索メニューで設定可能です。

[月、日、時、分]

[−]ボタンを押すとバックアップ開始時刻をセット、[+]ボタンを押すとバックアップ終了時刻をセットします。選択された時間は明るい灰色に変化します。

選択されたバックアップ時間帯はバックアップ範囲に表示されます。

IX. クライアントプログラム

- **Central Management Software**

  中央監視ソフトウェア(CMS)

1. プレーヤープログラム紹介

DVRプレーヤープログラムを通じて、ライブ監視、映像検索、PTZカメラの制御などDVRのフル設定ができます。また、10個のDVRを同時遠隔制御します。１個のDVRには遠隔接続が同時に三つまで可能です。 個々のユーザーはDVRを別々に制御しますが、お互いに影響は与えません。設定の場合だけ一人制限されます。

1-1. インストール

PC 推奨仕様

	推奨
OS	Windows XP,VISTA
CPU	Pentium Ⅳ 2.8 G
RAM	512MB RAM
ビデオ・カード	16MB
HDD空容量	2 GB
解像度	1024*768
その他	Direct X 8.0以上
	オーバーレイYUY2支援

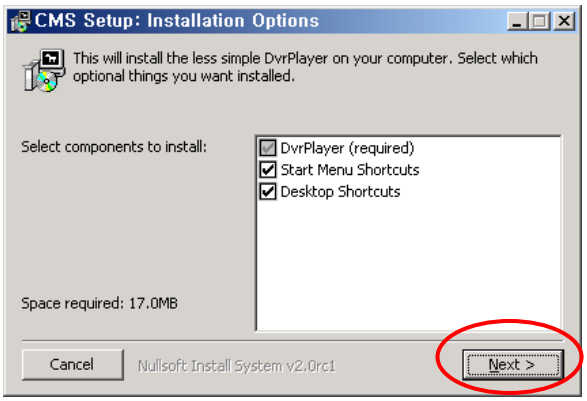
PCが最低のシステム条件を満たさない場合、CMSソフトウェアが正常に動作しないことがあります。CMSと関連する全てのプログラムは、シングル・タスク環境でテストされています。そのため複数のタスクが同時に実行されている場合、予期しないエラーが発生することがあります。さらに、PCに不適切なコーデックがインストールされている場合、プログラムが誤作動することがあります。
特に複数のDVRをモニタリングする場合には、PCやネットワークの性能に十分余裕を持たせるようにしてください。

DirectX 6.0以下のバージョンがインストールされている場合、CMSは実行できません。Microsoftから、最新の**Direct X**をダウンロードしてください。

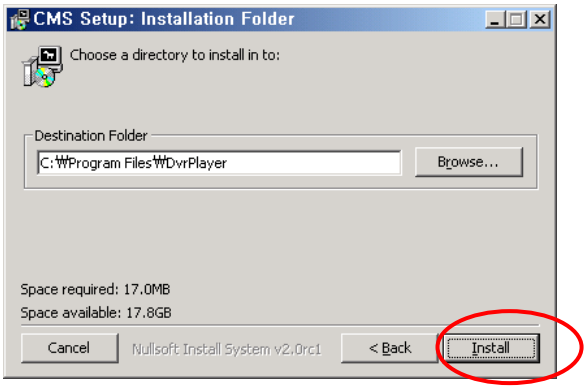
1.2. インストールするには

(1) CD-ROMに“**Client Install CD**”を挿入し、“DvrPlayerinstaller.exe”をダブルクリックします。

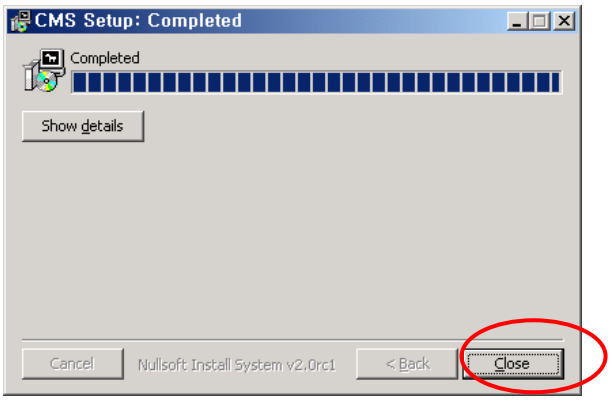
(2) 下図の「**NEXT**」ボタンをクリックします。


CMS Setup: Installation Options
This will install the less simple DvrPlayer on your computer. Select which optional things you want installed.
Select components to install:
DvrPlayer (required)
Start Menu Shortcuts
Desktop Shortcuts
Space required: 17.0MB
Cancel
Nullsoft Install System v2.0rc1
Next >

(3) 「**Install**」をクリックします。 必要な場合、ディレクトリを指定してから“Install”をクリックします。



(4) 下のダイアログ・ボックスが出ると「**Close**」ボタンを押します。



(5) デスクトップにCMSのアイコン

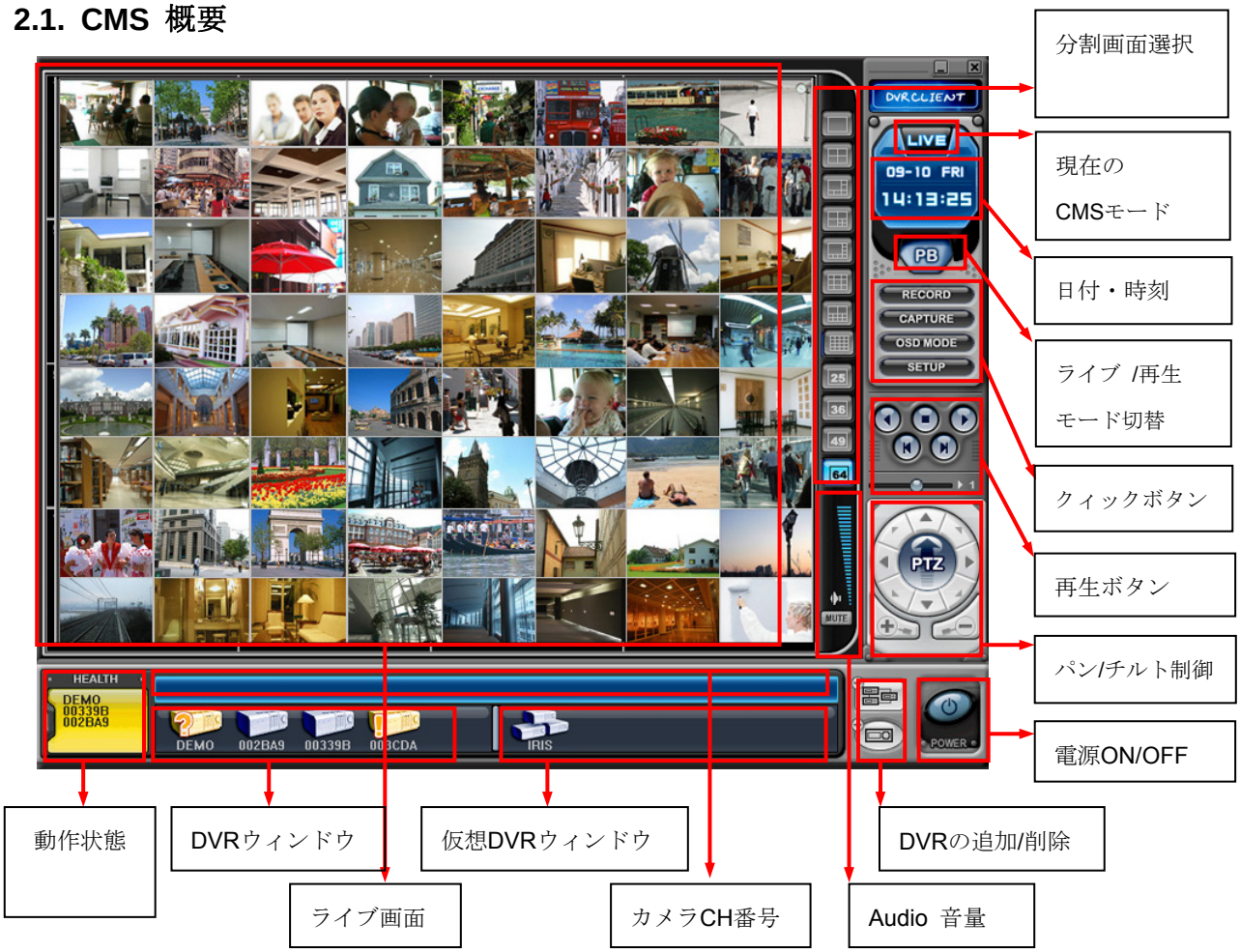
が生成されます。

(6) をダブルクリックし、パスワードを入力します。

*初期設定のパスワードは半角「０」です。パスワード変更は **CMS Setup設定**を参照してください。この画面を抜けるには “ESC”を押します。

2. 特徴

2.1. CMS 概要



2.2. 機能

(1) 分割画面の選択

a. 1 画面表示

b. 4 画面表示

c. 6 画面表示

d. 7 画面表示

e. 8 画面表示

f. 9 画面表示

g. 10 画面表示.

h. 16 画面表示

i. 25 画面表示

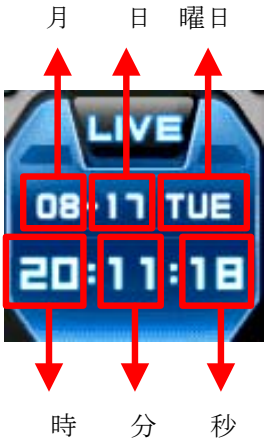
j. 36 画面表示

k. 49 画面表示.

l. 64 画面表示

(2) 日時表示

ライブモードではPCの現在時刻を、再生モードでは再生時刻を表示します。



(3) ライブ/再生モード切替

a.

ライブモード

b.

ダウンロードファイルの再生

(4) クィックボタン

a.

現在のライブ映像をパソコンに動画で録画します。遠隔録画中は録画ボタンの色が水色に変化します。
(保存先の初期設定: C:¥Program Files¥DvrPlayer¥Download)

b.

現在モニタリング中の画像を静止画で保存または印刷します。

c.

オンスクリーン表示の ON・OFF ボタン。

d.

CMS設定。

* **CMS設定**

① 一般1

a) OSD 設定

時刻、DVR名、カメラ番号、カメラ名、各カメラのフレームレートのような、オンスクリーン表示情報の表示と非表示を選択します。

b)オーバーレイ (初期設定)

パソコン内での映像の転送効率をアップするために、オーバーレイの使用を推薦します。不適切なビデオドライバがインストールされている等の理由で、映像が乱れる場合は、オーバーレイ機能のチェックを外してください。それでも画面の異常が改善しない場合は、ウィンドウのハードウェアアクセラレータの設定を下げてください。

c)ビデオ・モード

NTSCあるいはPALですが、日本国内では通常NTSCを選択します。

d)ダウンロード

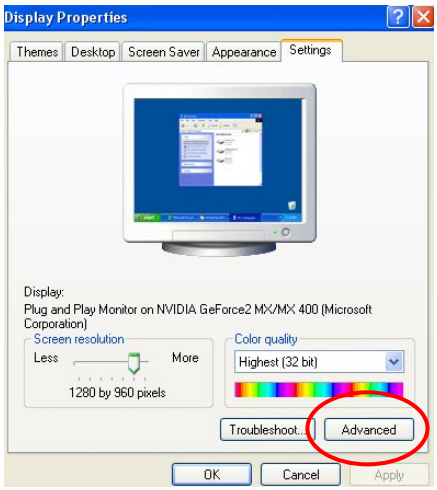
ダウンロードファイルの保存先フォルダを指定します。

<ノート> ハードウェア・アクセラレータのコントロール

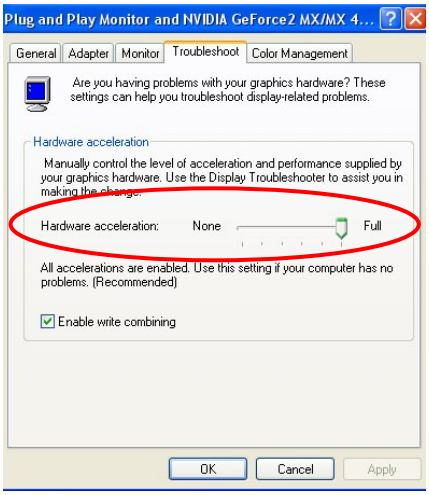
ⓐ PCの「画面のプロパティ」のAdvanced(詳細設定)をクリックします。

ⓑ “Troubleshootトラブルシューティング”を選択し、ハードウェアアクセラレータを下げます。

ⓐ



→ ⓑ



② 一般2

a) POS

POS項目検索を最大1000件に制限します。

b). Log

ログ表示を最大1000件に制限します。

c). チェック Watermark

watermarkチェックの設定。

d) Auto Full Screen for Alarm Event

アラームイベント発生時に1画面表示にします。.

③ パスワード

– パスワード変更

a) OLD PASSWORD ： 現在のパスワードを入力します。

b) NEW PASSWORD ： 新しいパスワードを入力します。

c) CONFIRM PASSWORD ： 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力します。

- **APPLY**ボタンを押すとパスワードが変更されます。(OK ボタンではありません。)

<注意> このパスワードはCMSの起動を制限するものです。DVRのパスワードではありません。

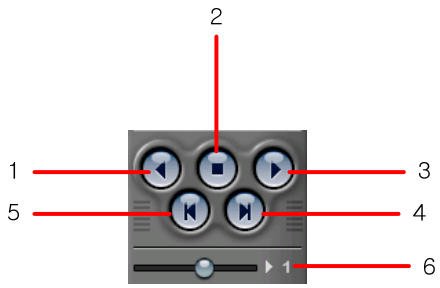
④音声

CMS用の音声警告設定です。イベントの種類毎の音声警告のON・OFFを切り替えます。

- CONNECT： DVR が接続されたとき CMS は音を出します。.
- DISCONNECT： DVR が切断されたとき CMS は音を出します。
- ALARM： DVR でアラームが発動されたとき CMS は音を出します。
- MOTION： DVR がモーションを検知したとき CMS は音を出します。
- VIDEO LOSS： ビデオロスのとき CMS は音を出します。

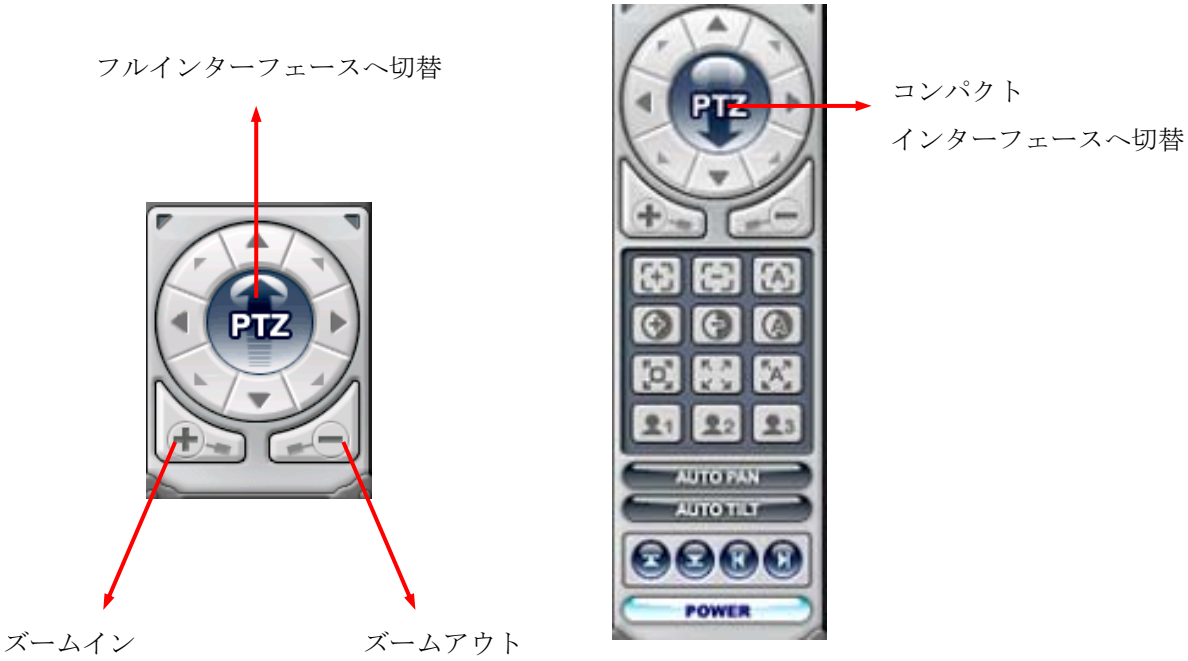
(5) 再生コントロールボタン

- これらのボタンは、ダウンロードされたファイルの再生時のみ機能します。



1. 逆再生を始めるには、逆再生ボタンを押します。
2. 再生を停止するには、停止ボタンを押します。
3. 再生を始めるには、再生ボタンを押します。
4. 現在見ているフィールドの後のフィールドを見る。(コマ送り)
5. 現在見ているフィールドの前のフィールドを見る。(コマ戻し)
6. ローカルDVRモードで再生スピードをコントロールします。

(6)　　パン/チルトコントロールボタン



複数のP/T/Zカメラが DVRに接続されている場合、それらを個々に選択して、PTZコントロールボックスを使って制御できます。特定チャンネルのP/T/Zカメラを制御するには、P/T/Zカメラが接続されたチャンネルをクリックします。

a. パンおよびチルト

表示	機能	表示	機能
	上方向		下方向
	左方向		右方向
	左上方向		右上方向
	左下方向		右下方向

b. フォーカス

表示	機能
	遠
	近
	自動

c. アイリス

表示	機能
	絞りを開く
	絞りを閉じる
	自動絞り

d. ツアー

表示	機能
	ツアーの設定をします。設定できるプリセットポイントは接続されたP/T/Zカメラによって変わります。
	プリセットを呼び出します。
	オートツアーを開始します。

e. 特殊機能キー

P/T/Zカメラの各種機能

f. オートパン

表示	機能
	オートパンの左側の限界をセットします。
	オートパンの右側の限界をセットします。
	オートパン機能を実行します。

g. オートチルト

表示	機能
	オートチルトの上側の限界をセットします。
	オートチルトの下側の限界をセットします。
	オートチルト機能を実行します。

h. パン/チルト電源

パン・チルトのスタンバイまたは、P/T/Zカメラのライトの ON OFF。

(7) HEALTH(動作状態表示)

問題またはイベントの発生したDVRの新しい５台分のDVR名を表示します。色は、DVRからのレポートに応じて変化します。

a. 赤

赤は、DVRの重要な機能の中断や故障の場合： 接続失敗、接続タイムアウト、停電、ファンロック、システム故障、HDD故障、停電復旧、ファンロック復旧、システム故障復旧、HDD故障復旧

b. 黄

黄は録画またはアラーム関係のイベント発生： ビデオロス、ビデオロス復旧、アラーム検知、モーション検知、録画停止、予約OFF、バックアップ動作停止

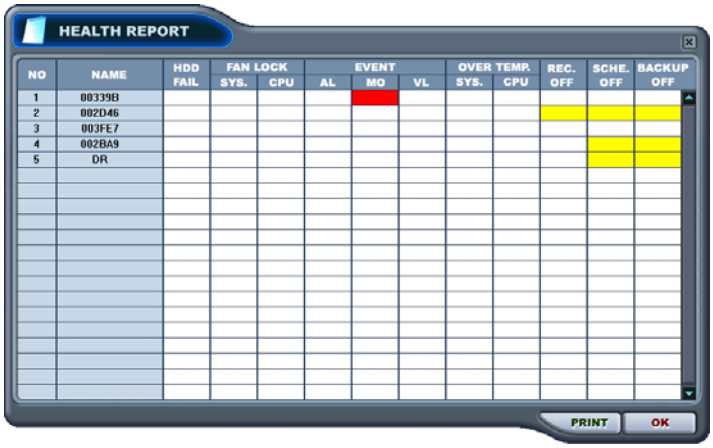
c. 青

青はDVRが正常に機能している場合です。

DVR名が表示される場合：録画開始、バックアップ動作開始、予約ON

*** Health Report** 動作状態レポート

「動作状態レポート」メニューは、接続された全てのDVRの状態の概要をすぐにユーザーに提供します。最大300台のDVRに関する故障、イベント、録画モードなどのような、状態を確認することが出来ます。



動作状態レポートは、“HEALTH動作状態”をダブルクリックすると、いつでもアクセスできます。

詳細なログリストは 動作状態レポートのNameや アイコンをダブルクリックすると表示されます。

欄の色	状態
赤継続	過去にイベントまたは問題が発生したことを示します。
赤点滅	現在発生中のイベント、または問題を意味します。
黄継続	DVRの現在の状態。

<*注意*> ネットワーク接続エラーまたは停電の場合、各**DVR**の「**NO**」と「**NAME**」の項目が赤点滅します。

a. HDD FAIL: 動作中のHDD故障を知らせます。
b. FAN LOCK
   a) SYS. FAN: DVR側面にあるファンの異常を示します。
   b) CPU FAN: CPUにあるファンの異常を示します。
c. EVENT
   a) AL: アラーム
   b) MO: モーション
   c) VL: ビデオロス
d. OVER TEMP. **(本機では、ご利用になれません。)**
   a) SYS.: DVR温度チェック
   b) CPU: CPU温度チェック
e. REC. OFF : DVRの REC LEDのON OFFを示します。
f. SCHE. OFF: DVRの 予約録画のON/OFF状態を示します。

g. BACKUP OFF: DVRのバックアップ状態を意味します。

**** DVRの登録情報**

“DVR NOまたはDVR NAME”をダブルクリックすると、見ることができます。

このメニューは、下に記載されたような情報を提供します。

a. DVR モデル :本機に関する情報を表示します。
b. システム時刻: DVRの内蔵時計の日時を表示します。
c. 録画 : 現在のノーマル録画チャンネルを表示します。
d. アラーム : 現在のアラーム録画チャンネルを表示します。
e. モーション : 現在のモーション録画チャンネルを表示します。
f. ビデオロス : 現在映像信号が中断中(ビデオロス)のチャンネルの表示。
g. HDD容量 : 利用可能なHDD残容量/ HDD全容量
h. バックアップサイズ : 利用可能なUSB HDD残容量/USB HDD全容量
i. 録画可能時間 : 推定残り録画時間
j. HDD : ハードディスクの異常を示します。
k. システム・ファン : ファンの異常を示します。(本機では未対応)

**** CMS ログリスト**

このメニューはCMSが動作中の間のCMSログを提供します。さらに、それぞれのDVRの特定の情報はDVRログリストを参照してください。

**** DVR ログリスト**

これは、DVRセットと同じログリストを示します。ご購入後、初めてDVRの電源を入れてからの全てのイベントを持っています。

ダブルクリックすることによって、選択された時間が再生されます。

3. DVR 制御

3.1. セットリスト管理

- リスト管理は、主にCMSリストへのDVRの追加と削除に使用されます。

ボタンをクリックすると、リスト管理画面が現れます。

(1) オートスキャン

これは同一ネットワーク内に接続されたDVRを自動的に見つけますが、既にリスト上にある場合はスキップします。DVRのホスト名の下6桁が自動的に「DVR名」に入力され、初期設定のパスワードは「000000」(管理者)です。

(2) リストに追加

以下のステップでCMSにDVRを追加します。

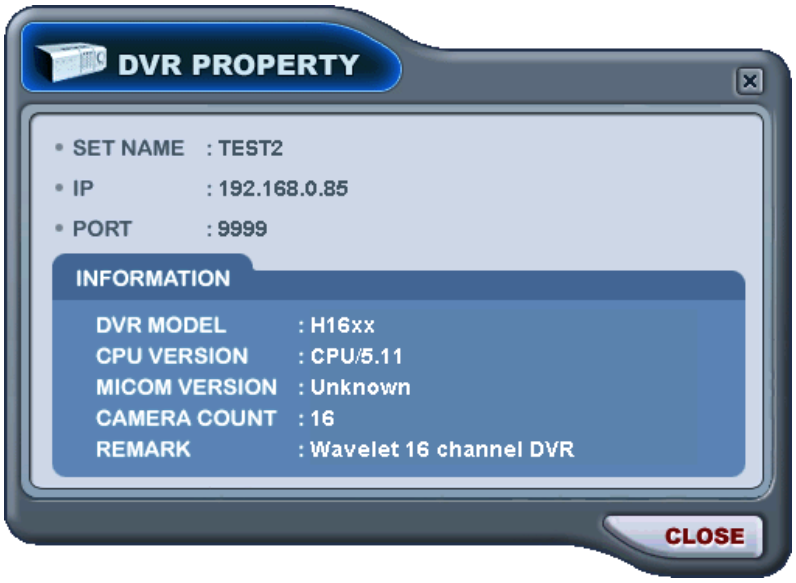
1) Set名:「監視」ウィンドウおよび「動作状態レポート」ウィンドウに表示させるためのDVR名を入力します。
2) IP: IPアドレスを入力します。
<例:192.168.0.52>またはDNS名<例: demo.dvrhost.com>
3) ポート: 7000＜初期設定＞
4) パスワード: 以下のオプションから選択
   - ユーザー パスワード: ライブ監視、遠隔再生、検索
   - 管理者パスワード: 全機能
5) リストに追加: “Add to Listリストに追加”をクリックするとCMSリストへDVRの追加が完了します。
6) 変更を保存してメニューを抜ける: “OK”をクリック
7) 変更せずにメニューを抜ける: “Cancel”をクリック

- 適用: 選択されたDVRの設定を変更するために使用します。

(3) リストから削除: CMSリストから選択されたDVRを削除します。

(4) 設定: 選択されたDVRのメニュー設定を表示します。

(5) 登録情報: DVR名、IPアドレスのような情報を提供します。



3.2. DVRの状態

DVRの状態は、接続されたそれぞれのDVRの状態を、画面下にユーザーがすぐにチェックできるよう表示します。それぞれのアイコンの意味を以下に示します。

(1)ノーマル

青色のDVRはDVRが何の問題もなく働いていることを意味します。
このアイコンをクリックすると、現在のライブ映像が表示されます。

(2)ネットワーク接続中

オレンジ色のDVRはCMSがネットワークを通してDVRに接続試行中であることを意味します。このアイコンをクリックすると「接続準備中です、お待ちください」と表示されます。

(3)ネットワークエラー／切断

ピンク色のDVRは、ネットワークエラーまたはパスワードの誤りで、DVRに接続できないことを意味します。ネットワーク接続エラーが発生した場合、CMSは30秒間隔でDVRへの接続を試みます。このアイコンをクリックすると、「ネットワークエラー」か「パスワード誤り」かを判断できます。パスワードが間違っている場合は、パスワードを変更してください。

(4)システム異常

オレンジ色のDVRは、イベントまたはシステムの問題を意味します。このアイコンをダブルクリックすると、CMSログリストがポップアップされます。

① “OK”を選択してメニューを抜けると色の状態は青に戻ります。

② “x (Close)”を選択すると、以前の状態を維持したまま、メニューを抜けます。

3.3. カメラの表示

カメラの状態はステータスバーに個別のカメラの状態を表示します。カメラはチャンネルに従って表示されます。

(1) 希望するDVRをクリックします。

(2) カメラの情報が表示されます。

(3) それぞれのアイコンの意味を以下に示します。

1) (青)　　：映像は入力されていますが録画されていません。
2) (暗い青)：映像信号の入力がありません。(ビデオロス)
3) (赤)　　：入力された映像を録画中

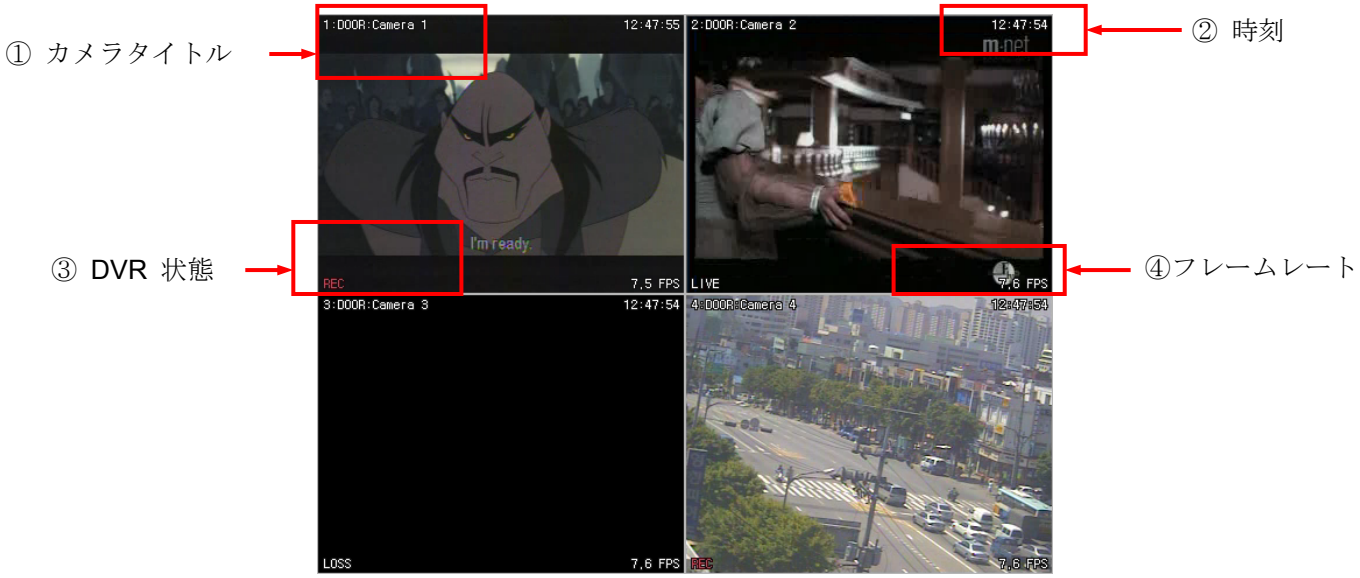
3.4. ライブ監視

(1) 個別DVRのモニタリング

“ または “をダブルクリックすると、ライブ映像が表示されます。

(2) オンスクリーン表示

画面内の文字表示は４種類あります。オンスクリーン表示はCMS設定で選択できます。



1) カメラタイトル: 次の順で表示します。カメラ番号- DVR名またはHost名-カメラ。

2) 時刻　　：時刻を表示します。

3) DVR 状態:　録画、ネットワーク接続、映像信号なし、イベントおよび現在の状態の表示

表示	状態
REC	ノーマル録画
Wait	接続中
Loss	映像信号の中断(ビデオロス)
Close	DVRからの切断
Alarm	アラーム録画
Motion	モーション録画
PB	再生
Live	ライブ監視

4) フレームレート: ネットワーク転送速度。転送フィールド率は DVRの実際録画フィールド率と異なります。.

(3) 分割画面表示

分割画面ボタン をクリックすると、希望の分割画面が表示されます。

(4) カメラの表示位置の変更

それぞれのカメラ映像をドラッグ＆ドロップすることで、希望するカメラの表示位置を変更することが出来ます。

(5) 1画面表示

1画面表示には2つの方法があります。

1) 分割画面表示の時に、希望するカメラ映像が表示されているウィンドウをダブルクリックする。(以前の分割表示のモードに戻すには、再度ダブルクリックしてください。)

2) 分割画面表示の時に、希望するカメラ映像が表示されているウィンドウをマウスで右クリックし、表示されたメニューで1画面表示を選択します。

(6) **デュアル 表示**(同時再生＆ライブ監視)

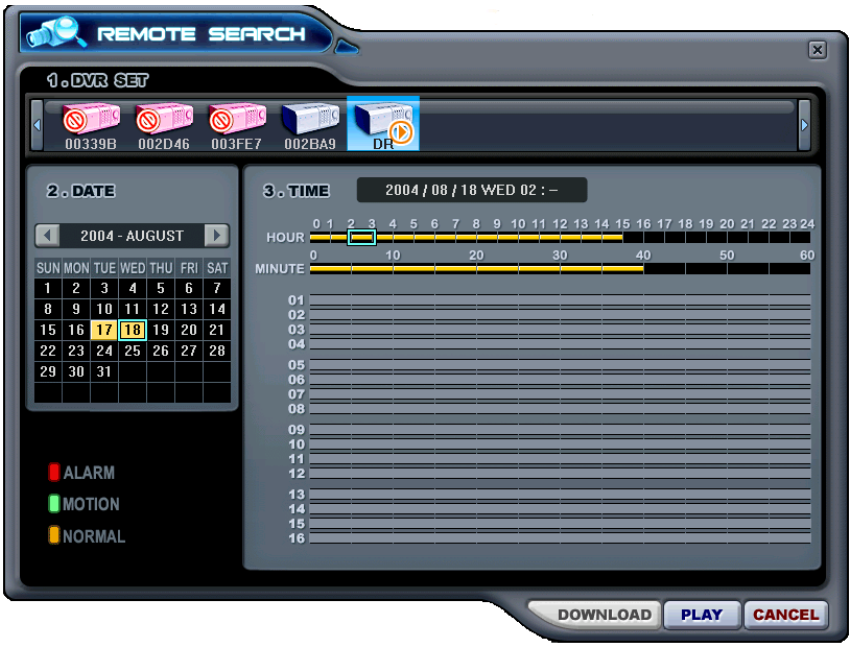
ファイブ監視モードでも個々のチャンネルで遠隔再生ができます。デュアル表示は個々のDVRと仮想DVR、両方可能です。

1) ライブ監視の際、再生するカメラを選択します。右クリックでコンテキストメニューが表示されます。

コンテキストメニュー

2) Search検索をクリックすると、遠隔検索メニューが表示されます。

3) 希望するDVRと日時を選択します。“Play再生”ボタンを押し、再生します。
(参照－〉“Playback再生”セクション)



<注意>	選択した時間帯にデータがない場合は、該当カメラが録画されているか確認して下さい。

4) ライブ監視中に再生を開始します。

5) 右クリックすると停止します。

6) 次にコンテキストメニューが表示されます。ライブを選択します。

3.5. コンテキストメニュー

コンテキスト・メニューは、チャンネル、DVR および仮想DVRのサブメニューへのアクセスを可能にします。サブメニューは、それぞれ個別のサブメニュータイプの様々な機能へのアクセスを可能にします。

(1) ライブ監視中のコンテキストメニューは３種類です。（右クリック）

1) 検索: 遠隔検索で再生
2) FULL SCREEN: １画面表示

(2) ライブ監視中の再生のコンテキストメニューは４種類です。(右クリック)

1) 検索: 遠隔検索で再生 (次のページで説明)
2) ライブ: 再生を停止し、ライブ監視に戻ります。
3) FULL SCREEN: １画面表示

(3) 各DVRには７種類のコンテキストメニューがあります。

1) ライブ: 選択したDVRのライブ表示
2) 登録情報: DVR情報
3) CMS ログリスト
4) DVR ログリスト
5) 設定: 参照 ―>“DVRメニュー設定”
6) 除去: DVRウィンドウから除去

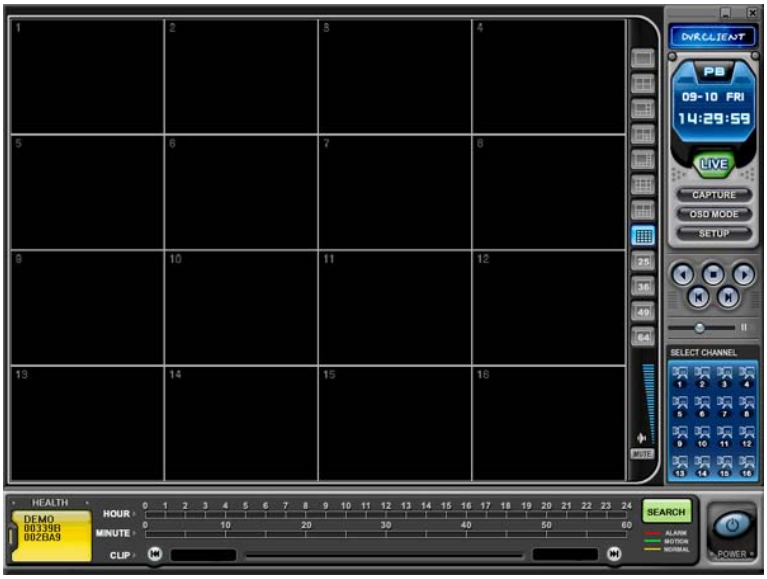
3.6. 再生

再生モードに切り替えることで、PCから「リスト管理」で登録されたDVRの、遠隔再生またはファイルのダウンロードをすることができます。ライブモードとは異なり、一度に複数のDVRにアクセスすることはできません。

(1)

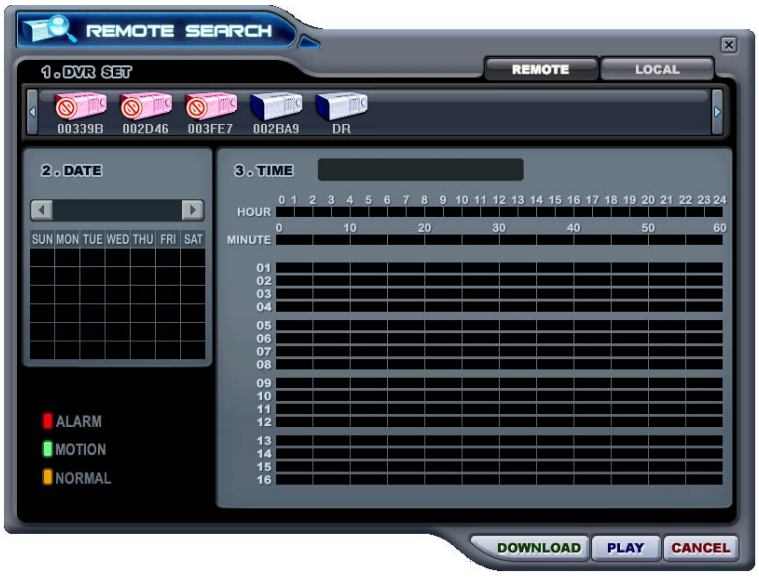
再生ボタンを押します。.

(2) これで、下図のような再生モードに切り替わります。



(3) 次に

検索ボタンを押すと、「リモート検索」メニューが表示されます。



(4)

あるいは

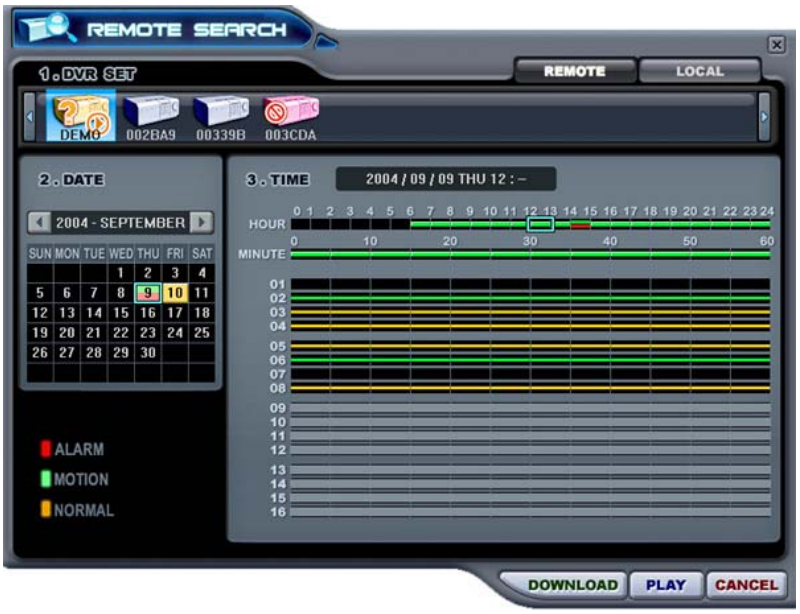
ボタンを押します。

1) リモート再生

リモート再生は、DVRに内蔵されたHDDに録画された映像を、CMSを通して再生することができます。

① REMOTE ボタンと、希望するDVRを選択します。

② リモート検索は、DVRに記録された映像を、グラフで表示します。データは録画されたときの録画モードによって色分けされています。　アラーム(赤) ＞ モーション(緑) ＞ ノーマル(黄)



③ 希望する日時を選択します。バーグラフをクリックして、PLAY ボタンをクリックすると再生を開始します。

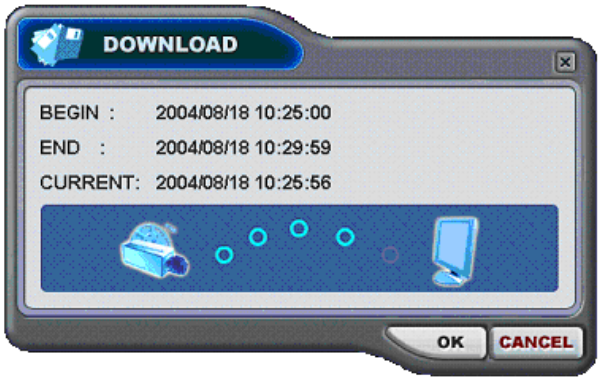
2)　リモートダウンロード

リモートダウンロードは、DVR内蔵のHDDに録画された映像を、CMSを通して直接パソコンにダウンロードする機能です。

① REMOTE ボタンと希望するDVRを選択します。

② リモート検索は、DVRに保存されている録画された映像を、グラフィカルな表現で示します。

③ 希望する日時を選択します。 DOWNLOAD ボタンをクリックして保存します。 保存場所の初期設定は「C：¥Program Files¥DvrPlayer¥Download」です。保存フォルダ(ディレクトリ)は、「CMS設定」メニューで変更できます。

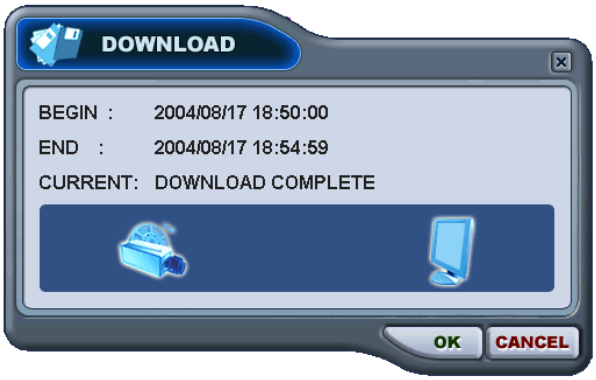


a. BEGIN – END: 選択されたファイルの開始と終了時間を表示。

b. CURRENT　：現在ダウンロードされたファイルの時間を表示。

c. Download Cancel: CANCEL ボタンでダウンロード中止。

d. Download Complete: ダウンロードが完了すると、「CURRENT」の時間表示が下図のように、「DOWNLOAD COMPLETE」メッセージ に変わりますので、 OK をクリックします。



3) ローカル

「ローカル」メニューは主にDVRからCMSを通してパソコンにダウンロードされたデータを見るために使います。

① LOCAL ボタンを選択します。

② ローカル検索では、保存されたファイルがグラフで表示されます。

③ DVR,日時を選択した後、 PLAY ボタンを押します。

④ DELETE ：選択されたファイルを、PCから削除します。

⑤ SAVE AS ：選択されたファイルを、PCの別のフォルダ、または他のドライブに保存します。

⑥ OPEN FILE ：DVRでバックアップされたUSBメモリーCDやDVDを開きます。

3.7. DVRメニュー設定

- DVRメニュー設定は、DVR本体のメニュー画面にアクセスするように、CMSを通してDVRの様々なシステム設定を変更できます。
- DVR設定は、各DVRアイコンのコンテキスト・メニューを使ってアクセスできます。

メニュー設定をするには、各DVRを選択し、右クリックで表示されるコンテキスト・メニューから、「設定」を選択します。

4. 仮想 DVR

4.1. 仮想DVRとは

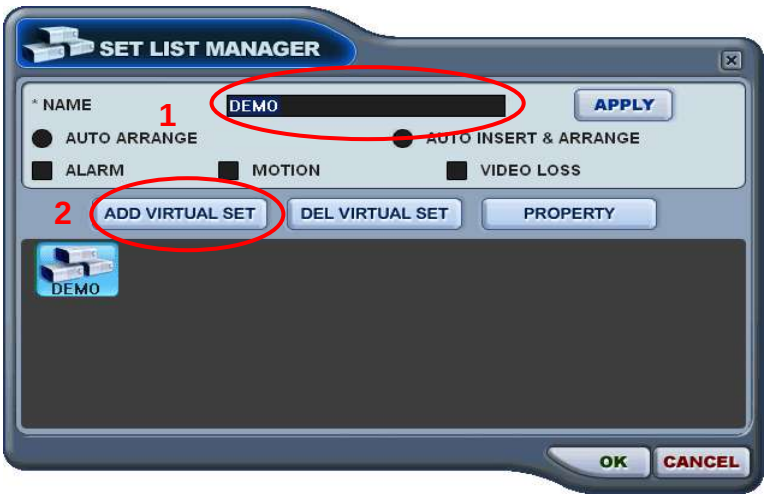
仮想DVRは実際のDVRではありませんが、既にDVRウィンドウにリストされた複数のDVRを 組み合わせてグループ化することで1つの画面に表示する機能です。 1つの仮想DVRをセットすることで最大64のDVRを追加できます。それぞれのDVRからひとつのカメラを選んで表示できます。仮想DVRは、警告通知以外、通常のDVRと同じように作動します。

4.2. 仮想セット・リスト管理

仮想セット・リスト管理は、CMSへの仮想DVRセットの追加と削除に使用されます。

ボタンをクリックし、セットリスト管理を開始します。

セットリスト管理メニューは下図のようにポップアップされます。



(1) CMSリストの追加

次のステップで仮想DVRを作ってください。

1) DVR名: CMSウィンドウに表示させる仮想DVRタイトルを入力します。

***** 自動整列**:**

- このオプションをチェックすると、CMSは仮想DVRに登録されたカメラからの任意に起きるイベントでカメラの表示位置を揃えます。イベントの起きたカメラは自動的にチャンネル1に移動します、そのため優先度の順に整列されます。

* 自動追加と整列**:**

- このオプションをチェックすると、イベントによるカメラ映像の整列に加え、それまで表示に含まれていなかったカメラも自動的に優先表示します。

*** アラーム/モーション/ビデオロス:**

- それらのオプションをチェックするとカメラは、アラーム、モーションまたはビデオロスによる自動整列と自動挿入が行われます。

2) 仮想DVRの追加: 「仮想セット追加」ボタンをクリックすると仮想セットを追加します。個別のセットと同じ名称を重複させないでください。

3) 変更を保存しメニューを抜ける: 「OK」を選択します。

4) 変更せずにメニューを抜ける: 「CANCEL」をクリックします。

- 適用： これは選択された仮想DVRの名称を変更するために使用します。

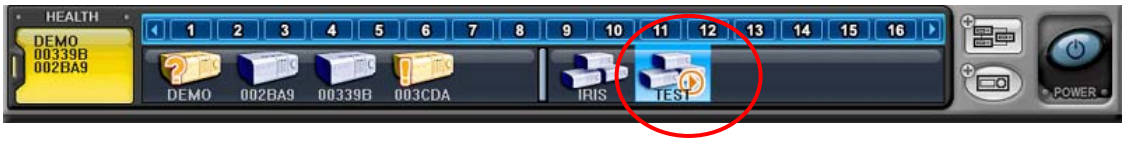
(2) 仮想DVR削除: CMSリストから選択された仮想DVRを削除します。

(3) 登録情報: このメニューは仮想セット名のような情報を提供します。接続されたDVR 数の合計、接続されたDVRの選択されたカメラ数とIP情報の合計。

4.3. 仮想DVRの編集

(1) 希望する仮想DVRをダブルクリックします。

(2) 選択された仮想DVRが有効になり、て「▷」で表示されます。



(3) 表示のためにマルチスクリーンのいずれかを選択します。

(4) カメラの追加方法は２種類あります: ひとつはDVR全体、もう一つはそれぞれのDVRに選択されたカメラです。

1) 希望するDVRのカメラ全体

①希望するDVRをドラッグし直接希望するチャンネルの位置にドロップします。

②カメラは選択されたチャンネルから番号順に追加されます。

下の例では、8ch DVRをチャンネル番号5にドラッグしています

2) DVRの任意の選択されたカメラ

① 仮想DVRが有効になっている間、DVRウィンドウの任意のDVRをクリック

② カメラアイコンが表示された後、DVRの任意のカメラをドラッグし、希望チャンネルに直接ドロップします

下の例では３番目のDVRの１番目のカメラを１４チャンネルにドラッグしています。

< 注意 > 同じチャンネルで重複する場合、既存のカメラに新しいカメラが置き換えられます。

(5) カメラ削除

CMSからカメラを削除するには2つの方法があります。

1) ライブ監視中に削除するカメラを選択します。画面を右クリックするとコンテキスト・メニューが現れます。“ REMOVE削除”を選択。

2) 削除する任意のカメラを選択し、DVRウィンドウまたは仮想DVRウィンドウに直接ドラッグします。

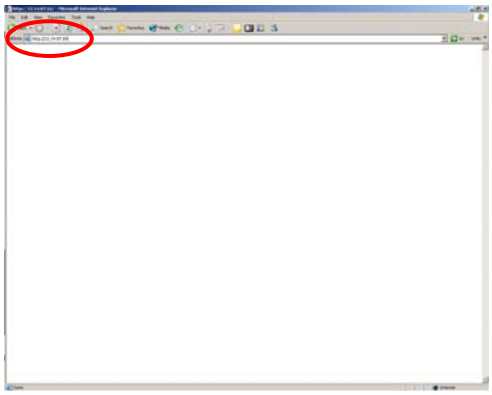
4.4. 仮想DVRのライブ表示

実際のDVRと同じです。

付録1: WEB CMS

Internet Explorer上でDVRのライブ映像を見ることができます。ユーザーがPCに専用のCMSソフトウェアをインストールする必要がないので大変便利です。ダウンロード以外はCMSと同様の機能を使うことができます。ライブイメージと再生画面を見ることができます。

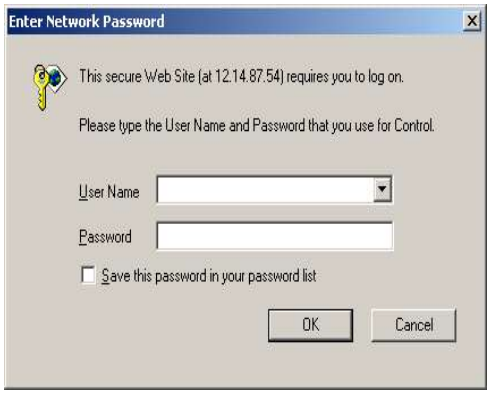
1. INTERNET EXPLORERでDVRに接続



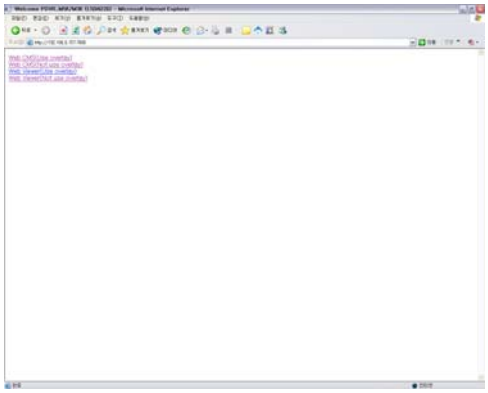
本機のIPアドレスをInternet Explorerのアドレスバーに入力します。

例えば,「http://192.168.0.250:7000」とタイプ。

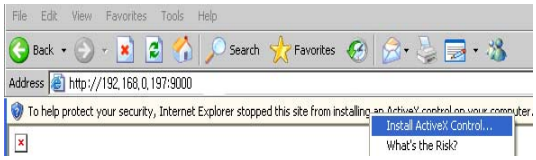
上の例はポート7000を利用している場合の例です。


Enter Network Password
This secure Web Site (at 12.14.87.54) requires you to log on.
Please type the User Name and Password that you use for Control.
User Name
Password
Save this password in your password list
OK
Cancel

管理者やユーザーでサインインします。
次にパスワードを入力します。

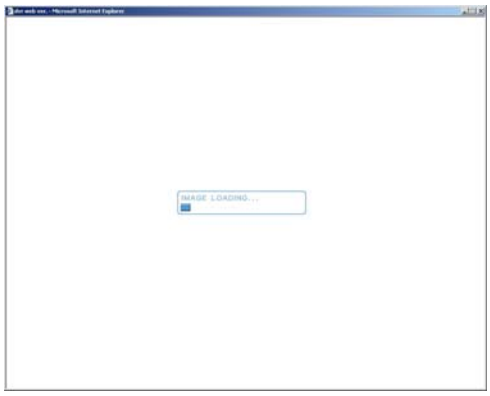


Web CMS(Use overlay)をクリックしてDVRに接続します。
CMS overlayに関しては63ページを参照してください。

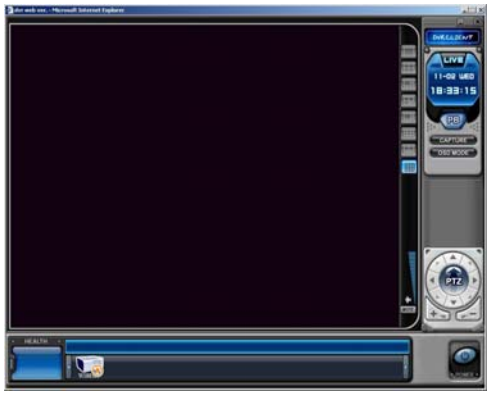


ウィンドウにActiveXをインストールするためのバーが出ますので、クリックしてダウンロードしてください。

インストールします。

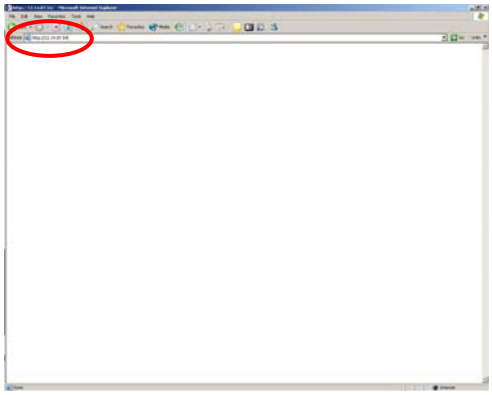


イメージローディングが終わるまで待ってください。



イメージローディングが完了するとDVRのイメージとWEB CMSバージョンが現れます。

付録 2: 監視



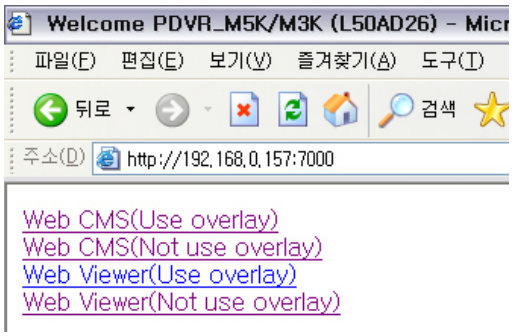
本機のIPアドレスをInternet Explorerのアドレスバーに入力します。

例えば,「http://192.168.0.250:7000」と入力します。

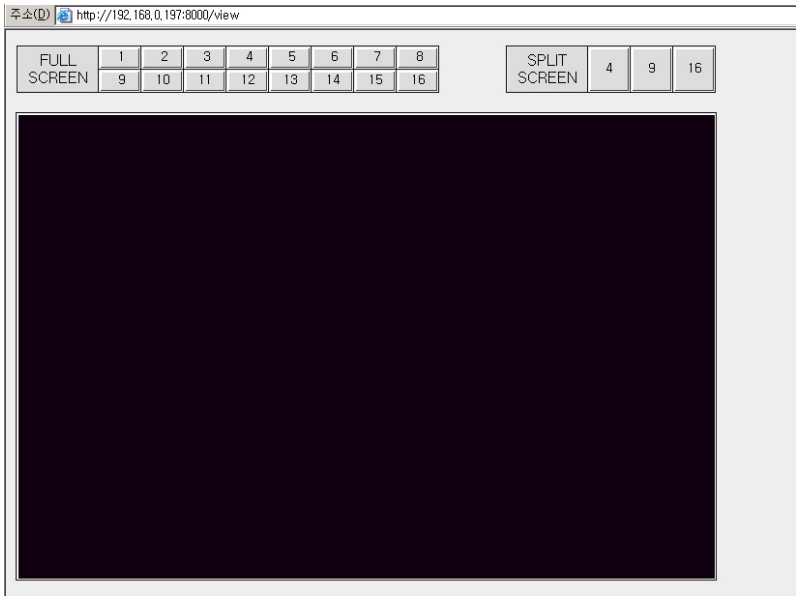
上の例はポート7000を利用している場合の例です。

.

管理者やユーザーでサインインします。
次にパスワードを入力します。



Web viewerをクリックしてDVRに接続します。
(監視のみ可能です。)


주소(D)
http://192.168.0.197:8000/view
FULL SCREEN
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
SPLIT SCREEN
4
9
16

[仕様]

仕様		**4CH / 8CH / 16CH**
映像入力		4 , 8, 16
映像出力		Composite, VGA, SPOT-OUT
圧縮方式		H.264
ライブ表示解像度		720*480
アラーム入力/出力(リレー)		4/1 , 8/1 16/1
オペレーティングシステム		インベデッドLINUX
システム制御		キーボタン、赤外線リモコン、リモートクライアント、キーパッド
ライブ表示速度		リアルタイム
最大録画速度	NTSC	30 fps 720 x 480 ,60 fps 720 x 240, 120 fps 360 x 240
音声録音		1 入力, 1 出力
特長		
ディスプレイ		明るさ、コントラスト、カラー(彩度)調整
カメラ名		各カメラに半角英数12文字
録画モード		ノーマル、予約、アラーム、モーション
録画方法		5 段階の圧縮率 / 録画フレームレート調整
録画調整		アラーム前：アラーム後 3秒： 10秒 ～ 300秒
モーション検知		4×4 分割 (本体)/ 28 x 24 分割(CMS)/ 感度設定 20段階
検索モード		日時、カメラ、アラーム、モーション
再生モード		再生・逆再生： 一時停止、コマ送り、等速、2倍、4倍、8倍、16倍
マルチタスク処理		ライブ表示、再生、録画、バックアップ、遠隔送信同時処理
Watchdog		停電復旧：自動再起動、以前の録画設定を保持することで自動再起動
ウォーターマーク		サポート
バックアップ		USB メモリー、外部HDD及び外部CD/DVD-RW
インターフェース		RS422, Ethernet(10/100 Base-T), USB 2.0
HDD		1 内蔵HDD
ネットワーク		LAN, WAN, Internet,
遠隔監視		クライアントソフトウェア(CMS)、IE